

基本計画

こども
くらし
かがやき
まち
みどり
けいえい



柱	分野	施策
こども	産み育てる環境	- 子育て環境の充実 - 産前産後・乳幼児期の安心の確保 - 子育てにかかる経済的負担の軽減
	就学前教育・保育	- 就学前教育・保育基盤の充実 - 多様な保育サービスの確保
	学校教育	- 学びの充実 - 学校施設の整備
	地域子育て支援	- 子どもの居場所・交流の充実 - 青少年の健全育成
くらし	保健・医療	- 健康づくりの促進 - 医療体制の確保
	高齢福祉・障がい福祉	- 豊かな高齢期のための環境の充実 - 介護等への支援の充実 - 障がいのある人等への支援の充実
	地域福祉・生活の安定	- 地域福祉の向上 - 生活の安定の確保
	社会保障	- セーフティ・ネットの堅持 - 年金・保険制度の適正運用
かがやき	地域活動・市民活動	- 自治活動の促進 - 市民活動の活発化と協働の促進
	人権	- 人権・平和を尊ぶまちづくり - 男女共同参画社会の形成
	生涯学習・文化・スポーツ	- 生涯学習環境の充実 - 文化・芸術の振興 - スポーツの振興
まち	市街地	- 中心市街地整備の推進 - 調和のとれた都市形成 - 都市機能の再創造
	道路・交通	- 交通ネットワークの充実 - 道路空間の整備
	産業	- 商工業・観光の振興 - 営農支援
	防災・安全	- 都市の防災機能の向上 - 災害時に生きるネットワークづくり - 安全・安心な地域づくり
みどり	環境共生	- 西山の整備 - 生活環境の保全
	水資源	- 水資源の保全 - 水の安定供給 - 下水の適正処理
	循環型社会	- 低炭素社会への転換 - ごみの減量と適正処理
	都市景観	- 良好な景観の保全 - 都市緑化と水辺環境整備
けいえい	魅力発信	シティプロモーションの推進
	都市経営	- 効果的・効率的な行財政運営 - 財産の適正管理 - パートナーシップ - 行政事務



- 産み育てる環境
- 就学前教育・保育
- 学校教育
- 地域子育て支援

子育てについての第一義的責任は保護者が有しています。その上で、地域の宝である子どもがその尊厳を守られ、地域の支援の中で健やかに成長できるまち、地域に見守られながら子育てを楽しめるまちを築いていきます。



こども

産み育てる環境

5年後の目標

安心して子どもを産み育てられる環境が充実し、
すべての子どもがその子らしく健やかに育っている。

● 概 況 ●

本市の合計特殊出生率は1.38（平成20～平成24年）。全国平均と同程度です。

全国的な少子化の進行が問題視される中、長岡京市でも、「産み育てたい」希望をもつ市民がその思いを叶えることができる「産み育てる環境」を充実させていくことへの要請がますます強まっています。

切れ目のない子育て支援、地域でのつながりづくり、子育てに要する経済的な負担の軽減などが求められるところです。

妊産婦支援や乳幼児健診、子育て教室などを通して、妊娠期・乳幼児期に関する知識の普及や情報提供の充実を図るとともに、乳幼児の疾病や発達の課題については、早期発見と早期支援に努めていきます。

施 策

子育て環境の充実

5年後
の
目 標

多世代が交流し、子育てについて学び、悩みを気軽に身近で相談できる環境が整っている。

産前産後・ 乳幼児期の安心の確保

5年後
の
目 標

子どもを望む人が安心して妊娠・出産でき、また、乳幼児が健やかに育つ環境が整っている。

子育てにかかる 経済的負担の軽減

5年後
の
目 標

子どもの健康や成長、教育にかかる、家庭の経済的負担が軽減している。

■関連計画、条例など

*長岡京市健康増進計画《母子保健計画》

*第5次長岡京市障がい者（児）福祉基本計画

地域子育て支援センター



施策の内容



■地域の交流の場づくりや保健・福祉・医療のさらなる連携を進めて、子育ての悩みや不安を身近で相談でき、必要な情報の提供や適切な支援が得られる環境を作ります。また、子育てを支えるネットワークの充実を図ります。



■妊娠・出産の安心確保、不妊症対策や、乳幼児の発育・発達の総合的な支援を行います。特に支援の必要な妊婦、子どもの発達や育児に特別な課題のある家庭への支援の充実を図ります。



■子育ての経済的な負担感が大きいことが、少子化の要因のひとつに挙げられます。各種の制度の運用によって、それぞれの家庭の実情に応じた、経済的な負担の軽減を図ります。

〔産み育てる環境〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／子育て環境の充実＞

◎身近な場での情報提供や相談・支援を行うため、地域の子育て拠点の充実を図ります。

◎児童虐待の未然防止や早期発見の体制をより強化します。

事業名称 地域子育て支援拠点の充実事業

親の育児不安や悩みの解消、親や子ども同士のふれあいと交流を促進するため、現在あるつどいの広場を拡充し、既存のセンターと合わせて4つの支援センターにします。

指標	子育て支援センター数			
	現状値	2か所	目標値	4か所

事業名称 児童虐待防止事業

児童虐待は社会的にも大きな問題となっており、児童に関する様々な悩みや不安に対応するため、家庭児童相談室が総合相談窓口となり、各関係機関と連携して、子どもの心身に深刻な影響をもたらす児童虐待の未然防止、早期発見に努めます。

指標	児童虐待ケースの新規受理件数			
	現状値	84件	目標値	75件

＜施策／産前産後・乳幼児期の安心の確保＞

◎妊娠・出産期の支援を強化し、切れ目のない子育て支援体制の充実を図ります。

◎保健、福祉、教育の垣根を越えた発達障がい児（者）への支援システムづくりに取り組みます。

事業名称 長岡京子育てコンシェルジュ事業

妊娠期から子育て期に至るまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に対し、保健師等の専門職員が総合的な相談支援を行い、切れ目のない支援が行える体制を整備します。妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて支援プランを策定し、きめ細かい支援を実施します。

指標	全ての妊婦の状況把握率			
	現状値	98.8%	目標値	100%

事業名称 子育て応援教室事業

保護者が安心して子育てに向かえるようにするため、子どもの月齢に応じた各種教室、健康相談事業の更なる充実を図り、正しい知識の普及や情報提供を実施します。乳幼児の健やかな成長・発達を支えるため、保護者同士の仲間づくりや育児力を高める支援を実施します。

指標①	子育てふれあい教室（2～3か月児対象）参加率			
	現状値	40.1%	目標値	50.0%
指標②	10か月児教室参加率			
	現状値	87.0%	目標値	90.0%

事業名称 育児支援家庭訪問事業

乳幼児健診で把握された子どもの発育・発達の問題や保護者の育児不安、健康面等の課題に対し、保健師、管理栄養士、作業療法士等が家庭へ訪問し専門的なアドバイスをを行うとともに、関係機関と連携を図り、継続的な支援を実施します。また、虐待やその疑いのある家庭を早期に把握し、児童虐待の未然防止を行います。特に子育てコンシェルジュとは、妊娠から子育てまでの包括支援体制の構築のため連携し事業を推進します。

指標	育児支援が必要な家庭への訪問率			
	現状値	91.7%	目標値	100%

事業名称 発達障がい児（者）支援事業

発達障がいのある人の早期発見・早期支援を進めるため、「支援ファイル」を導入・活用して、保健、福祉、教育等の関係機関による、切れ目のない連携システムを整備します。将来的に児童発達支援センター（仮称）の設置を検討します。

指標	発達障がいのある児童等の「長岡京市支援ファイル」作成率			
	現状値	平成28年度新規事業	目標値	50.0%

事業名称 不妊治療等の給付事業

子どもを望みながら妊娠・出産に至らない夫婦に対して、治療に要する費用の一部を助成することにより、妊娠・出産の安心を確保します。また、市独自の取組として、不育症治療の保険診療外の費用についても助成します。

指標	不妊症等の助成申請に対する給付率			
	現状値	100%	目標値	100%

<施策／子育てにかかる経済的負担の軽減>

◎現行の医療費や保育料の支援を通じ、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

事業名称 子育て支援医療費助成事業

保護者の経済的負担を軽減し、子どもの健康保持・増進を図るため、幼児や児童の現行の子育て支援医療費の助成を継続します。

指標	子育て支援医療費助成制度の維持			
	現状値	制度維持	目標値	制度維持

※参考：平成26年度決算額 37,220,548円

事業名称 第3子以降の保育料等無償化

保育所や幼稚園に通う第3子以降の児童にかかる保護者への経済的負担を軽減し、安心して産み育てられる環境づくりを推進します。

指標	就学前教育・保育施設を利用する第3子以降の児童数			
	現状値 (平成27年度)	290人	目標値	前年度数値を下回らない

※前年度数値を下回らない…毎年度の目標

事業名称 認可外保育施設利用助成事業

子育て世帯の負担を軽減するため、認可保育施設に入所ができずに認可外保育施設を利用した世帯に対する助成の充実を図ります。

指標	認可外施設利用助成制度の維持			
	現状値	制度維持	目標値	制度維持

※参考：平成26年度決算額 8,435,250円



こども

5年後の目標

就学前教育・保育

就学前の子どもが、家庭や地域に守られ、
良好な育ちと学びの環境で伸びやかに生活している。

● 概 況 ●

就学前の子どもの教育・保育の場、
集団生活の場として、市内には、5
つの公立保育所、6つの民間保育園
と5つの私立幼稚園などがあります。

保育所・保育園・幼稚園を拠点と
して子育て家庭を支え、保育需要の
多様化と増加に応じて、待機児童の
解消を図ることと、平成26年度末
現在で耐震化率が60%である公立
保育所の耐震化と老朽化対策が、喫
緊の課題となっています。

これらの課題に早期に対応し、就
学前の子どもが伸びやかに育ち学ぶ
ことができる良好な環境を確保しま
す。また、保育所・保育園・幼稚園
のそれぞれの良さを活かしながら、
義務教育への円滑な移行を図ってい
きます。

施 策

就学前教育・ 保育基盤の充実

5年後
の
目 標

待機児童が解消し、子育てをしながら
安心して仕事を続けられる環境が充実
している。

多様な保育サービスの確保

5年後
の
目 標

子どもの状況・保護者の就労状況など
多様な需要に応じた保育サービスが確
保されている。

■関連計画、条例など

*長岡京市子ども・子育て支援事業計画

*第5次長岡京市障がい者（児）福祉基本計画



開田保育所

施策の内容



■保育所の耐震化や老朽化対策を順次進めるとともに、増改築や保育園の定員拡大等により待機児童の早期解消に努めます。また、保育所・保育園・幼稚園と小学校との連携を強めて、義務教育への円滑な移行を図ります。



■子育てをしながら安心して働ける保育環境を整備します。多様な事業主体による補完的な保育サービスの充足を進めることで、多様な保育需要に対応していきます。

〔 就学前教育・保育 〕 に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／就学前教育・保育基盤の充実＞

◎耐震化・老朽化対策と定員拡大を目的とした公立保育所の施設整備を推進するなど、待機児童解消のための対策を実施します。

◎保育所や幼稚園と小学校との連携事業を推進します。

事業名称 保育所施設整備事業

待機児童の解消を図り、安全な保育環境を確保するため、耐震化・増築等保育所施設の整備改修を行います。

開田保育所は、移転・新築で平成28年4月、神足保育所は、増築・改修で平成30年4月、新田保育所は、移転・新築で平成31年4月にそれぞれ開所を予定し、入所定員の増員を図ります。

指標①	公立保育所の耐震化割合（5施設）			
	現状値	3／5	目標値 (平成31年度)	5／5

※神足、深田、滝ノ町保育所が耐震化済

指標②	4月1日時点待機児童数			
	現状値	28人	目標値	0人

事業名称 もうすぐ一年生事業

幼稚園や保育所等の幼児が小学校へ体験入学することで、小学校入学後の生活習慣や学習習慣の変化に対応できるようにします。

また、保育所・保育園・幼稚園等と小学校の教員による、保幼小連携会議で互いの教育・保育内容の理解を深め、就学前機関から小学校への円滑な移行を図ります。

指標	「もうすぐ一年生事業」に取り組む小学校数			
	現状値	10校	目標値	10校

＜施策／多様な保育サービスの確保＞

◎病児・病後児保育サービスの拡充を図ります。

◎乳幼児の保育・教育・子育てを一体的にサポートできる施設の整備を図ります。

◎年度途中に発生する保育ニーズに適切に対応し、待機児童解消を目指した施策を検討します。

事業名称 病児・病後児保育運営助成事業

病気や病気の回復期にある子どもが保護者の就労等により家庭で保育できない場合に、一時的に保育や看護を行います。加えて、保育ニーズに応じて新たな病児・病後児保育環境を整備します。

指標	病児・病後児保育実施施設数			
	現状値	1か所	目標値	2か所

事業名称 小規模保育施設の充実

地域の多様な保育ニーズにきめ細かく対応するために、小規模保育施設を充実するなど、年度途中に生じる保育ニーズに適切に対応する施策を検討します。

指標	小規模保育施設数			
	現状値 (平成27年度)	3か所	目標値	4か所

事業名称 駅前保育施設運営助成事業

女性の社会進出や地域活動への参加、生きがいづくり等の環境を整備し、公共交通機関に隣接した利便性と立地条件を活かして、夜間保育や休日保育、一時保育等の多様な保育サービスを提供するために、保育施設に対して運営助成を継続します。

指標	一時預かり及び早朝・夜間並びに休日保育年間延べ利用人数			
	現状値	438人	目標値	前年度数値を下回らない

※前年度数値を下回らない…毎年度の目標





こども

学校教育

5年後の目標

子どもが学校・家庭・地域に学びながら
「生きる力」を培って、未来に夢を描いている。

● 概 況 ●

市内には、市立の学校教育施設として、10小学校と4中学校があるほか、府立・私立の中学、高校、特別支援学校と短期大学があります。

義務教育では、体験を重視した学びの中で、児童生徒に生涯にわたる学習の基礎的な資質である「生きる力」を育んでいます。また、市立の学校では、平成27年時点で築後35年を経過した施設が約7割を占めており、順次、改修や設備改善を進めているところです。

児童生徒の充実した学校生活のため、学校の教育力の向上と地域の力のさらなる活用を図っていきます。また、発達障がいや不登校、子どもの貧困といった諸問題への対応を強化していきます。

施 策

学びの充実

5年後 の 目 標

学校・家庭・地域の連携のもとで、児童生徒が「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」を育んでいる。

学校施設の整備

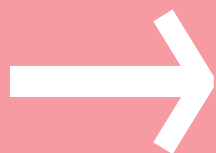
5年後 の 目 標

学校の安全・快適性と良好な学習環境が保たれ、地域住民の集いの場や災害時の避難所として機能している。

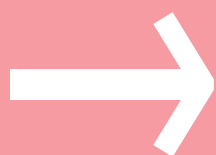


中学生の職場体験

施策の内容



■開かれた学校で地域の力をさらに活かした教育を行い、児童生徒の「生きる力」を培うとともに、学校や教育支援センター等との連携のもと、児童生徒の教育的ニーズに寄り添います。また、中学校での給食を実施します。



■学校施設の老朽化などに対し、建て替えを含めた施設・設備の長寿命化と機能の維持・向上を図ります。児童生徒の安全で快適な学校生活と充実した学習環境、災害時の避難所としての機能を保ちます。

〔 学校教育 〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／学びの充実＞

- ◎「生きる力」の基礎ともいえる確かな学力の向上と国際理解教育の推進を図ります。
- ◎「食育」の充実のため、中学校給食の実現を図るとともに、小学校での給食環境の向上を図ります。
- ◎「学びの基礎体力」を向上するため、学力の向上取組充実や ICT 教育を推進します。
- ◎不登校や障がい児などすべての子どもたちの育ちと学びを支えるため、教育支援センターの充実を図ります。
- ◎いじめの早期発見・対応の体制強化を図ります。
- ◎通学区域の見直しや小中一貫教育など、特色ある学校づくりのあり方を検討します。
- ◎学校での部活動の充実など競技力の向上を図ります。

事業名称 読書活動の充実

確かな学力を育むために読書活動の更なる推進を図ります。

指標	児童一人あたりの図書室図書の読書冊数			
	現状値	30.4冊	目標値	前年度より増加
指標②	生徒一人あたりの図書室図書の読書冊数			
	現状値	8.1冊	目標値	前年度より増加

※前年度より増加 … 毎年度の目標

事業名称 外国語活動推進事業

英語教育の充実のため、小学校においては外国語活動指導員（日本人）による授業回数を拡充し、外国語活動の充実をさらに進めます。また、中学校においては、英語指導助手（AET）をアーリントンから招き、ネイティブの英語に触れ、異文化や異なる生活習慣を学ぶ機会を設けることで、グローバルな人材の育成をさらに進めます。

指標	京都府学力診断テスト質問紙調査における、「外国語活動の勉強は好きだった」の回答率			
	現状値	70.0%	目標値	前年度より増加

※前年度より増加 … 毎年度の目標

事業名称 中学校米国短期交換留学事業

米国アーリントンへの短期留学によって、異文化を知り、自己を相対化する視点をもつことで、グローバルな舞台でも積極的に挑戦し活躍できる人材となれる機会を提供します。

指標	訪米生徒の市民対象報告会の参加人数			
	現状値 (平成27年度)	149人	目標値	前年度より増加

※前年度より増加 … 毎年度の目標

事業名称 中学校給食の導入と小学校給食施設の改善

子どもの育ちを支える観点などから中学校給食導入に向け、実施方式、提供方法等の整備を進めるとともに、老朽化している小学校給食施設の改善に努めます。学校給食において地産地消の推進と食育に関する指導の充実にも努めます。

指標	小・中学校給食施設改修・設置計画の策定			
	現状値	平成28年度新規事業		
	目標値 (平成28年度)	小・中学校給食施設改修・設置計画の策定		

※平成29年度 … 平成28年度策定の小・中学校給食施設改修・設置計画に基づく指標設定

事業名称 学びをはぐくむ土台づくり支援事業

各学校の課題に応じ、大学教員等を講師とした研修による教師力の向上と学力低位層児童生徒の支援（学力向上サポーター配置）を行い、児童生徒の学力向上を目指します。
また、小中学校では、次期学習指導要領からアクティブラーニング（主体的・協働的な学習）がキーワードとなることから、デジタル教科書やタブレット端末等の ICT 活用を図ります。

指標	京都府学力診断テストで正答率が50%未満の割合			
	現状値	小学4年生 / 国語17.58% 算数20.75% 中学1年生 / 国語13.01% 数学34.85% 中学2年生 / 国語15.01% 数学21.79%		
	目標値	前年度より減少		

※前年度より減少 … 毎年度の目標

事業名称 「育ち」と「学び」の支援体制整備

教育支援センターにおいて、不登校やいじめ、心身の発達、学習や学校生活などの教育や子育てに関する課題や相談に専門の相談員等が安心と信頼を醸成しながら丁寧に対応できる体制を充実します。

指標①	全国学力・学習状況調査の質問 「学校に行くのは楽しいと思う」に対する「そう思う」 「どちらかと言えばそう思う」の回答率（小学校）			
	現状値	90.1%	目標値	95.0%
指標②	全国学力・学習状況調査の質問 「学校に行くのは楽しいと思う」に対する「そう思う」 「どちらかと言えばそう思う」の回答率（中学校）			
	現状値	85.0%	目標値	90.0%

事業名称 いじめの問題等への対策

いじめ等対策指導員を配置し、いじめ等の実態把握を行うなど、各学校への巡回指導を実施します。各学校では、学期ごとにいじめアンケートを児童生徒に行い、いじめの早期発見・早期対応に努めます。

指標	重大事案発生数			
	現状値	0件	目標値	0件

事業名称 学校での部活動支援

部活動の充実を支援するとともに、競技力の向上を図るため、遠征費等の充実に努めます。

指標	長岡京市スポーツ賞のわかたけ賞受賞者数			
	現状値	20人 9団体	目標値	—

<施策／学校施設の整備>

- ◎学習環境や避難所機能の向上を目指し、非構造部材の老朽化対策やトイレの改修を進めます。
- ◎大規模校対策など個々の学校に応じた計画的な施設整備を進めます。

事業名称 学校施設安全・快適整備

児童・生徒の安全・安心と快適な学校生活、充実した学習環境などの実現のため、施設整備を行います。天井撤去・外壁改修等の安全対策工事及びトイレ改修・バリアフリー化を推進します。

指標	トイレ改修実施率（対策済み棟／対象棟）			
	現状値	53.3% (24棟/45棟)	目標値	100% (45棟/45棟)



こども

地域子育て支援

5年後の目標

子どもが地域社会の一員として尊重され、多様な体験機会に恵まれて、まちの将来を担う心と力を培っている。

● 概 況 ●

子どもが、自主性や社会性、協調性、創造性、リーダーシップなどを培い、自らの人格を発達させていくためには、地域の自然や人との関わりの中で遊び、様々な体験を通じて学び、交流することが重要です。

放課後児童の安全・安心な居場所を確保するため子どもや青少年の居場所づくり、活動支援などを行っています。

地域ぐるみで子どもを育てる気運を高め、住民の参画と協働を促進し、放課後子ども教室、留守家庭児童会※などの活動の充実、また、場の整備も進め、子どもの居場所、遊びや体験活動の機会を提供していきます。

施 策

子どもの居場所・交流の充実

5年後の目標

地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。

青少年の健全育成

5年後の目標

地域に見守られて、青少年が社会性を備えた健全な大人として成人し、仲間とともにまちの未来を担っている。



長岡京ガラシャ祭

施策の内容



■住民の参画を促しながら、放課後子ども教室や留守家庭児童会※、子供会といった、地域の子育て支援活動の充実を図ります。

■子どもが安心して過ごせ、伸び伸びと遊べる環境や、集団での遊びや異年齢交流の機会を提供することで、子どもの主体性や社会性を育んでいきます。



■幼少期から青年期を通じ、生活・行動の時代変化を踏まえながら、地域ぐるみで子どもの成長を見守るため、各種団体や関係機関との連携のもとで、青少年の健全育成に努めます。

※「留守家庭児童会」は、平成28年度から国の施策に合わせ、「放課後児童クラブ」に名称を変更します。

〔 地域子育て支援 〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／子どもの居場所・交流の充実＞

◎放課後の子どもたちの多様な過ごし方を確保するため、放課後児童クラブの環境整備やすくすく教室の充実を図ります。

◎地域と小中学校の連携強化を通じ、子どもたちの育ちを支える体制づくりを図ります。

◎ソフト・ハード両面から児童館機能の充実を図ります。

事業名称 放課後児童クラブ育成事業

放課後の児童を対象に小学校敷地内で家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成を図るとともに、開所時間の延長などのサービス内容の充実を図り、保護者の仕事と子育ての両立を支援します。

放課後児童クラブへの入会数は増加傾向にあるため、児童一人あたりの専用区画を確保できるよう計画的な施設整備を進めるとともにすくすく教室推進事業との連携を図ります。

指標	児童一人あたりの専用区画1.65㎡を充たす放課後児童クラブ数			
	現状値	0クラブ	目標値	3クラブ

事業名称 すくすく教室推進事業

学校や地域、家庭が一体となって、子どもの安全・安心な居場所を確保し、特別教室や体育館等の学校施設において、地域の活力を利用して、放課後や週末などの子どもの活動拠点を創出し、学習やスポーツ、文化活動などの取組を推進します。また、放課後児童クラブ育成事業との連携を図ります。

指標①	すくすく教室参加児童数			
	現状値	39,452人	目標値	41,000人
指標②	すくすく教室指導員等人数			
	現状値	6,776人	目標値	6,800人

事業名称 地域で支える中学校教育支援事業

子どもが自主性や社会性、協調性などを培うため、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進します。各中学校に地域コーディネーターを配置し、地域住民がボランティアとして、中学校が必要とする支援活動（学習支援、部活動支援、環境整備、登校指導など）を行うとともに、研修交流などを通して地域ボランティアの資質向上等に努めます。

指標	地域で支える中学校教育支援事業年間活動延べ日数（4校合計）			
	現状値	650日	目標値	800日

事業名称 児童館子どもの居場所づくり事業

児童館が来館する子どもや保護者にとって快適な居場所となるよう、トイレの洋式化をはじめ遊戯室、図書室の改装、授乳室の設置、キッズルームの充実など、子どもの居場所となる児童館施設の充実を図ります。

また、家庭での教育力、子育て力の向上を図るため、これまで配置していた児童教育相談員に加え新たに子育て相談員を配置することで、子どもや保護者に向けた教育相談や学習相談、子育て相談など子育てに関する支援を充実させます。

指標	児童館の来館者数			
	現状値	10,987人	目標値	13,000人

＜施策／青少年の健全育成＞

◎地域ぐるみで青少年の健全育成を推進するため、関係機関や団体の役割分担を見直し、連携体制をより強化します。

事業名称 地域見守り活動の推進

子どもの健やかな成長と発達をめざす地域の育成組織が、相互に連携を深め、子どもを守り育てる活動を支援し、明るく住みよいまちづくりを推進します。

指標	—			
	現状値	—	目標値	—

こども

地域子育て支援



「長岡京市子どもをすこやかに育むまち宣言」

平成 18 年 12 月 15 日
議決

子どもはみんな、私たちの宝です。明るい未来への希望です。

しかし、少子化や核家族化を背景に、家庭基盤の弱体化、地域コミュニティの希薄化が進み、子どもに対する犯罪や虐待、いじめが多発して、尊い生命が無残に奪われるなど、大変憂慮される事態にあります。

次代を担う子どものかけがえのない生命を守り、すこやかに育てることは、私たち大人の責務です。

私たち長岡京市民は、子どもが西山の緑にいだかれてすこやかに育つことを願い、家庭・地域・学校・行政が緊密なネットワークを形成して子どもの安全を守り、まちぐるみで子育てを進めることを誓って、ここに「子どもをすこやかに育むまち」を宣言します。

- 保健・医療
- 高齢福祉・障がい福祉
- 地域福祉・生活の安定
- 社会保障

39



くらし

保健・医療

5年後の目標

健康づくりの意識と行動が浸透し、限られた医療資源の適正利用が進んで、市民の健康寿命が延伸している。

● 概 況 ●

医療ニーズの増大に対応しつつ、地域医療機関との連携のもとで、休日・夜間等を含めた医療体制の安心をつくってきています。今後も、この医療体制を堅持し、市民にはその適正利用を促していきます。

その上で、健康教室などを通じて健康づくりの啓発に努め、また、健診・検診や保健指導などを行っていますが、青壮年層への健康づくり支援が十分に行き届いていません。

乙訓医師会や近隣の市町などとの連携をより密にして、健康に関する情報や機会に接することが少ない市民への啓発等を強化するとともに、健診・検診を受ける動機づけや環境整備などを図っていきます。

施 策

健康づくりの促進

5年後
の
目 標

「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸している。

医療体制の確保

5年後
の
目 標

かかりつけ医と総合医療機関等との連携のもと、乙訓圏域での医療体制が確保され、市民が適正に利用している。

■関連計画、条例など

- *長岡京市地域健康福祉計画
- *長岡京市健康増進計画
- *長岡京市食育推進計画
- *長岡京市国民健康保険特定健康診査等実施計画
- *長岡京市保健事業実施計画



血管イキイキ講座

施策の内容



■市民の健康づくりや健康寿命の延伸のため、健診・検診、保健指導、健康教育・食育や予防接種など、健康づくりの環境を整備し、個人や地域が取り組む多様な健康づくりの活動を支援・促進します。



■市民がいつでも医療を受けられる安心の確保のため、内科・小児科・外科を中心として、休日、夜間の診療体制の確保に努めます。

〔保健・医療〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／健康づくりの促進＞

◎健康づくりの環境を充実するとともに、情報提供や啓発・意識づくりを推進します。

◎予防の観点から健診・検診の推進を図ります。

◎「食育推進計画」に基づき組織の連携体制を強化し食育を推進します。

事業名称 健康づくり教育事業

「自分の健康は自分で守る」という意識と行動の浸透のため、生活習慣病や要介護状態の予防等の知識の普及を図り、健康意識を高めます。市民全体へのポピュレーションアプローチ※及び個々への動機づけとなるよう従来の健康教育に、更に情報配信の方法や内容の工夫を行い、市民の健康増進に努めます。

※ポピュレーションアプローチ

多くの人が少しずつリスクを軽減することで、集団全体としては多大な恩恵をもたらすことに注目し、集団全体をよい方向にシフトさせること

指標	健康づくり啓発事業の参加者数			
	現状値	7,100人	目標値	7,100人
指標	広報・ホームページ等による健康情報の配信回数			
	現状値	22回	目標値	27回

事業名称 成老人健康診査・がん検診事業

健診・検診の受診勧奨やがん予防及び疾病予防の啓発を実施します。

国や京都府との連携や受診体制の更なる充実を図り、新たな健診・検診受診者の増加や定着を促進します。

また、歯科口腔を健康に保ち生活習慣病予防につなげるために、歯周疾患検診等の充実を図ります。

指標	大腸がん検診受診率			
	現状値	23.1%	目標値	25.0%
指標	乳がん検診受診率			
	現状値	18.9%	目標値	25.0%

事業名称 食育推進事業

家庭、保育所、学校、地域において様々な機会に、食生活と栄養についての知識の普及及び地産地消を推進し、地域社会の活性化、豊かな食文化の継承に取り組み、第2次食育推進計画に従って事業を推進します。

また、長岡京市食育推進委員会の構成団体を増やします。

指標	市内小学6年生の朝食欠食率			
	現状値	2.8%	目標値	0%

＜施策／医療体制の確保＞

◎休日、夜間などの救急医療体制の確保を図ります。

◎長岡京市域の医療提供体制の充実を図るため、乙訓地域唯一の公的医療機関である済生会京都府病院の支援のあり方を含めた「地域医療ビジョン」を策定します。

事業名称 地域医療支援事業

市民の健康の維持を脅かす疾病の罹患や負傷に対し、いつでも安心して医療にかかれる体制を確保するため、地域医療機関、団体との連携を通して、救急医療体制を含む地域医療の維持、整備、提供のための支援を実施します。

指標	休日、夜間の救急医療体制の確保			
	現状値	確保できている	目標値	確保できている

くらし

保健・医療

事業名称 地域医療ビジョン(長岡京市版) 策定事業

長岡京市域の医療資源を有効に活用し、在宅医療体制の充実や地域の診療所、病院と中核病院との連携の在り方を検討し強化するなど、効果的な医療体制の充実を図るため、地域医療ビジョン（長岡京市版）を策定します。

併せて、公的病院である済生会京都府病院への支援の在り方も含めて、検討します。

指標	地域医療ビジョン（長岡京市版）の策定	
	現状値	平成28年度新規事業
	目標値 (平成30年度)	地域医療ビジョン（長岡京市版）の策定





くらし

5年後の目標

高齢福祉・障がい福祉

介護が必要になっても、障がいがあっても、
誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らしている。

● 概 況 ●

介護、医療、生活支援等のニーズの増大に対応することは重要な課題であり、誰もが必要な福祉のサービスを選択・利用できる体制をつくり守っていく必要があります。

その上で、誰もが高齢期を健やかに過ごせるよう、特に、社会参加の促進を図るとともに、認知症対策や介護予防を自主的・継続的に取り組める環境づくり、互助を基本とした見守り・支えあう地域づくりなどを進めます。

また、障がいのある人等とその家族が安心してその人らしく生活できるよう、制度の丁寧な周知に努めるとともに、乳幼児から高齢期まで生涯を通じる充実したケアマネジメントが行える体制を充実していきます。

施 策

豊かな高齢期のための 環境の充実

5年後
の
目 標

介護予防の取り組みが進み、生きがいや喜びを感じられる社会参加の機会が充実している。

介護等への支援の充実

5年後
の
目 標

認知症や介護等への理解が進み、介護が必要な人や家族が住み慣れた地域で最期まで安心して生活できている。

障がいのある人等への 支援の充実

5年後
の
目 標

障がいがあってもなくても、また、障がいが重くても、すべての人が自分らしく地域で生活することができる。

■関連計画、条例など

*長岡京市第7次高齢者福祉計画・長岡京市第6期介護保険事業計画

*長岡京市障がい福祉計画《第四期計画》

*第5次長岡京市障がい者（児）福祉基本計画

おいでよ♪ ほっこりんぐ



施策の内容



■日常生活の支援や医療費負担の軽減等により高齢期の安心を支えます。また、高齢者の生きがい活動、社会貢献活動への支援など、社会参加の機会を充実させます。



■認知症や介護等についての知識普及と意識啓発に努めます。また、介護等が必要な人と家族の生活を支えるため、諸サービスの適切な利用を支援するとともに、地域における支えあいの絆を強め、見守る体制の充実を図ります。



■障がいのある人等と家族が、障がいの種類や程度、ライフステージに応じて、その人らしく生活できる環境を充実させていきます。そのため、乙訓圏域での連携を中心に、適切なサービスを選択し利用できるよう努めます。

くらし

高齢福祉・障がい福祉

〔 高齢福祉・障がい福祉 〕 に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／豊かな高齢期のための環境の充実＞

◎地域や事業所、老人クラブなどと連携し介護予防事業の提供環境を充実させていきます。

◎カフェやサロンなど高齢者が集える場所づくりと支えあいの仕組みづくりを行います。

事業名称 介護予防事業

高齢化の急速な進展により、介護保険・生活支援サービスの需要の増加が見込まれるため、介護保険制度改正に伴う新総合事業への移行を受けたNPO法人などの地域資源を活用した介護予防の取組を更に推進します。また、老人クラブなど地域主体の取組を支援し、身近な地域で介護予防に取り組める環境を整備します。

指標	介護予防教室等の参加者数			
	現状値	205人	目標値	4,500人

事業名称 高齢者健康・生きがいつくり推進事業

地域団体やボランティアとの連携により、高齢者の閉じこもり・認知症予防や生きがいつくりを目的としたカフェ・サロン等高齢者の集える場の整備を促進します。また、元気な高齢者自身がボランティアとして事業運営に参画することで、社会参加を促進します。

指標	高齢者の健康・生きがいつくりを目的としたカフェ、サロン数			
	現状値	28か所	目標値	34か所

事業名称 老人福祉施設等整備事業

高齢者の生きがい・健康増進活動の拠点である老人福祉センター竹寿苑が、建築後40年以上経過し設備の老朽化が進んでいることから、介護予防などの機能を付加した新たな高齢者の福祉センターとして、移転も含めた再整備について検討を行います。

指標	老人福祉センター再整備の検討			
	現状値	平成28年度新規事業		
	目標値 (平成28年度)	共生型福祉施設構想と併せた検討		

＜施策／介護等への支援の充実＞

◎認知症の早期発見や進行抑制を可能とする体制づくりと、認知症に対する理解の促進や見守り体制の強化を行います。

◎高齢者の在宅生活を支援するとともに、特別養護老人ホームなど必要な施設整備を促進します。

事業名称 認知症施策総合推進事業

初期集中支援事業や認知症対応型カフェ事業等の充実を図り、認知症の早期発見から症状に応じた適切な対応まで可能となる体制の構築に努めます。また、サポーター養成講座やおでかけあんしん見守り事業の拡充により、認知症の人を地域で見守り、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整備します。

指標	認知症サポーター養成講座受講者数（累計）			
	現状値	3,263人	目標値	8,000人

事業名称 民間老人福祉施設等整備・運営支援事業

一人暮らしや高齢者世帯の増加などにより、安心して住み慣れた地域で生活が継続できる環境整備が求められており、また家族の介護を理由とした介護離職が課題となっていることから、特別養護老人ホームなどの施設整備を計画的に促進します。また、事業所が安定かつ適切な運営を行えるよう支援します。

指標	特別養護老人ホーム数			
	現状値	5施設	目標値 (平成29年度)	7施設

※平成30年度…平成29年度策定の次期介護保険事業計画に基づく指標設定

＜施策／障がいのある人等への支援の充実＞

- ◎関係機関との連携強化により、障がいのある人や家族のための相談体制と機能の充実を図ります。
- ◎障がいのある人が地域の中で安心して生きがいを持ち暮らしていくための施設整備を促進します。
- ◎障がい者の外出支援や就労支援を通じて社会参加を促進します。
- ◎福祉支援者の人材育成と確保に取り組みます。

事業名称 障がい者地域相談支援事業

障がいのある人や家族等の悩みや不安に対する適切な相談・支援や地域交流活動を促進します。また、個々の相談を地域課題として捉え、支援学校の進路先の確保や緊急時のニーズに対して、福祉・教育・就労・保健・医療等の各種サービスの総合的な調整による地域相談支援体制の強化を図ります。

指標	障がいに係る相談件数			
	現状値	14,561件	目標値	15,000件

事業名称 障がい福祉施設運営等支援事業

障がいのある人が安心して生活を送るための住まいや日中活動の場の確保や家族等の支えがなくなった時等に必要社会資源を充実させるため、障がい福祉事業所が適切な運営を行えるための支援を推進します。また、新たな障がい福祉事業所の参入を求め誘致を図ります。

指標	支援学校卒業生の就職・進路決定率			
	現状値	100%	目標値	100%

事業名称 障がい者の社会参加促進事業

公共交通機関の利用が困難な人に対し、タクシー料金等の一部を助成する「愛のタクシーチケット」の交付や、外出に支援を要する人の移動支援を実施します。また、障がい者団体等の文化・スポーツ・レクリエーション活動の支援、障がいのある人が交流できる居場所づくりの検討等、社会参加・余暇活動を支援します。

指標	愛のタクシーチケット利用率			
	現状値	88.6%	目標値	95.0%

事業名称 障がい者雇用・就労促進事業

福祉的就労の平均工賃底上げ対策として、障がい者施設製品販売会「ほっこりんぐ」を公共施設やイベント出店などを拡大して開催し、新たな外部販路の開拓等を支援します。

指標	福祉的就労の平均工賃			
	現状値	23,000円/月	目標値	34,000円/月

事業名称 福祉支援者の人材確保事業

障がい福祉支援者の人材確保を図るため、手話通訳者・要約筆記者等の養成講座やホームヘルパー等の福祉資格取得講座等を開催するとともに、若年層に障がい福祉に関する啓発を行うことで、障がい福祉支援者を増やします。

指標	手話・要約筆記講座受講者数			
	現状値	36人	目標値	50人

くらし

高齢福祉・障がい福祉



くらし

5年後の目標

地域福祉・生活の安定

地域での支えあい・助けあいと公助が連携し、誰もが
住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。

● 概 況 ●

少子・高齢化や小世帯化などによって、家庭や地域のつながる力・支えあう力が弱まっています。そうした力の必要性は、ますます大きくなっており、本来、家庭や地域に備わっている自助、互助・共助の機能を高め、公助との適切な連携を強化していく必要があります。

そのため、地域社会への市民の関心をいっそう高めることを重視して、市民・地域活動団体・企業など様々なまちづくりの担い手との協働を推進します。

消費生活や勤労者福祉に関することなど、相談事業や助成制度を通じて、不安を抱える市民に寄り添い、その多岐にわたる不安の解消に努めます。

施 策

地域福祉の向上

5年後
の
目標

住む・働く・育むといった日常生活に必要な安心を守るため、家庭や地域の互いに支えあう力が強まっている。

生活の安定の確保

5年後
の
目標

生活上の不安を抱える市民に対して、充実した相談支援があり、市民の安心と生活の安定につながっている。

■関連計画、条例など

*長岡京市地域健康福祉計画

*長岡京市営住宅等長寿命化計画

福祉避難所の開設訓練



施策の内容



■市民・地域活動団体・企業など多様な担い手の役割分担と協働を基礎とし、自助、互助・共助と公助の適切な連携を重視した地域づくりを進めていきます。



■生活に関わる様々な相談に応じ、庁内関係部署や関係機関と連携し、適切な制度の適用につなげます。

■就労支援、公営住宅の供給などを通じた、生活の自立や安定に向けた各種の支援を行います。

〔 地域福祉・生活の安定 〕 に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／地域福祉の向上＞

- ◎互助・共助の担い手として、民生児童委員や社会福祉協議会、NPO、民間団体の活動を支援します。
- ◎地域での見守りや課題解決の力を醸成するための新しい仕組みづくりを行います。
- ◎多様化する子ども、高齢者、障がい者などのニーズへの対応と老朽化している公共施設の再編という観点から「共生型福祉施設」の検討を進めます。

事業名称 地域福祉活動団体支援事業

地域での支えあい・助けあいに不可欠で、地域福祉の要である民生児童委員及び社会福祉協議会、またNPO法人や民間団体などによる地域福祉活動に対し財政的支援や事業実施の支援を行います。

指標	民間社会福祉活動振興助成金交付団体数			
	現状値	11団体	目標値	14団体

事業名称 きずなと安心の地域づくり応援事業

地域の福祉課題が多様化・複雑化するなかで地域で地域を見守り、支えあう力を醸成するために、総合生活支援センターの指定管理事業に「きずなと安心の地域づくり応援事業」を加え、地域の高齢者、障がい者、児童などの見守り・生活支援を進め、地域福祉の再構築に取り組みます。

指標	きずなと安心の地域づくり応援事業に取り組む小学校区数			
	現状値	平成28年度 新規事業	目標値	5小学校区

事業名称 共生型福祉施設構想の策定

公共施設の老朽化に伴う再編や本市の高齢者福祉・障がい者福祉・児童福祉の諸課題及び増大するニーズに対応するため、共生型福祉施設構想を策定します。

指標	共生型福祉施設構想の策定			
	現状値	平成28年度 新規事業	目標値 (平成31年度)	共生型福祉施設構想の策定

＜施策／生活の安定の確保＞

- ◎生活に関わる多様な相談に対応するため、「福祉なんでも相談」の充実を図ります。
- ◎老朽化しつつある市営住宅の計画的な修繕を進めるとともに、今後の公営住宅のあり方についても見直しを図ります。

事業名称 福祉なんでも相談事業

福祉や生活上の問題を気軽に相談できる福祉なんでも相談室の機能の充実を図り、問題の整理と必要な支援、制度利用のための総合調整・案内を円滑・適切に実施し、市民の総合的な相談に対応します。

指標	福祉に関する相談件数			
	現状値	878件	目標値	900件

事業名称 市営住宅の計画修繕事業

長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づき予防保全的な維持管理及び耐久性の向上や高齢者に対応した住宅改修を実施します。

民間賃貸住宅入居者への家賃補助制度の恒久化や空き家の利活用等について検討します。

指標	長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づいた改修の実施率			
	現状値	44.4%	目標値 (平成31年度)	100%

※平成32年度…平成31年度策定の次期長寿命化計画に基づく指標設定





社会保障

年金と医療・介護保険の制度が円滑に運用され、生活困窮の状態の人に適切な保護と自立支援が行われている。

● 概 況 ●

年金、医療保険、介護保険と後期高齢者医療の各制度を、公平かつ適正に運用しています。今後も、これら制度を確実に運用していきます。

また、社会経済や雇用状況などの変化に伴って、生活保護を必要とする人、また、生活保護に至る前段階での支援を必要とする人が増加しています。関係機関との連携により、制度を適切に運用するとともに、早期の生活自立に向けた支援を行います。

施 策

セーフティ・ネットの堅持

5年後
の
目 標

生活困窮にある人が早期の支援によって自立へと向かい、必要な人に対して生活保護が確実に適用されている。

年金・保険制度の適正運用

5年後
の
目 標

年金、医療保険、介護保険と後期高齢者医療の各制度が運用されて、市民の健康と生活の安心が守られている。



地域包括支援センター

施策の内容

くらし

社会
保障



■生活保護制度を生活困窮者自立支援制度と一体的に運用する中で、生活困窮にある人が早期に自立できるよう、関係機関との連携を強化しつつ支援します。また、生活保護が必要な人に対して制度の確実な適用に努めます。



■年金制度についての相談を通じて、被保険者の年金受給権の確保に努めます。また、医療・介護保険制度と後期高齢者医療制度を適正に運用し、市民が安心して医療・介護のサービスを利用できる環境を確保していきます。

〔 社会保障 〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／セーフティ・ネットの堅持＞

◎生活保護に至る前段階でのセーフティ・ネットを強化するため、生活困窮者自立支援制度の充実を図ります。

◎生活保護受給者の就労支援と社会参加を促進するため、ハローワーク、ジョブパーク、ポリテクセンターとの連携を図ります。

事業名称 生活困窮者自立支援事業

生活保護に至る前段階の生活困窮者への包括的支援を進めるため、自立相談支援、住居確保給付金の支給、学習支援、また、ハローワーク、ジョブパーク、ポリテクセンターとの連携を図った就労支援を実施します。

指標	就労支援対象者の就労・増収達成率 (就労・増収者数÷就労支援対象者数)			
	現状値	平成27年度 新規事業	目標値	50.0%

事業名称 生活の保護・自立促進事業

生活保護受給者が、健康で文化的な生活をおくれるよう制度の適切な活用により経済的援助を行うとともに稼働能力を有する者に対し、ハローワーク、ジョブパーク、ポリテクセンターと連携を図り、就労による自立と社会参加を促します。

指標	稼働能力を有する生活保護受給者の就労・増収達成率 (就労・増収者数÷就労支援対象者数)			
	現状値	21.9%	目標値	25.0%

＜施策／年金・保険制度の適正運用＞

◎年金や国保・介護・後期高齢等の各種制度の適正な運用と相談等窓口サービスの向上に努めます。

◎国民健康保険制度については、府や他市町村と連携しながら広域化への対応を行います。

事業名称 年金相談事業

国民年金制度について、被保険者及び受給資格者並びに受給者などの身近な相談窓口を充実し、サービスの向上に努めます。

指標	年金に関する相談件数			
	現状値	9,320件	目標値	9,000件

事業名称 国保・介護・後期高齢者医療

各種制度（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）の適正な運用に努めます。また、国民健康保険の広域化については、府や他の市町村と連携を図りながら進めます。

指標	—			
	現状値	—	目標値	—



「長岡京市健康文化都市宣言」

平成 10 年 9 月 22 日
市議会議決

この^{まち}街が好き
さわやかな風
^ひ陽が街にそよぐ
四季の楽しさ
人みなゆったり生きる
健康を願うころ
夢、希望、思いやり
豊かな歴史と文化に香る
やさしいふるさと長岡京
いつまでも暮らしたい
この街が好き

(平成 10 年 10 月 25 日制定された)



- 地域活動・市民活動
- 人権
- 生涯学習・文化・スポーツ

「長岡京市市民協働のまちづくり指針」を市民と行政の協働のあり方を示す基本的な規範と位置付けています。

住民主導の地域づくりのもとで地域の自治機能を高めるとともに、誰もが生涯を通じて学ぶことができるまち、一人ひとりの人権が尊重され、自分らしい人生を選びとっていけるまちを築いていきます。

「長岡京市市民協働のまちづくり指針」を市民と行政の協働のあり方を示す基本的な規範と位置付けています。

住民主導の地域づくりのもとで地域の自治機能を高めるとともに、誰もが生涯を通じて学ぶことができるまち、一人ひとりの人権が尊重され、自分らしい人生を選びとっていけるまちを築いていきます。



かがやき

5年後の目標

地域活動・市民活動

地縁型・テーマ型の多様な市民活動の中で生まれる
ふれあいと交流、協働によって、まちが元気になっている。

● 概 況 ●

各地域で自治の担い手不足が深刻化し、自治会加入率も年々低下しています。市民自治の活動が活発となるよう、自治会の負担軽減や活動の充実に向けた取組を支援していく必要があります。

他方で、テーマ型の市民活動は活発化しています。地域の課題に対して、市民活動団体・企業・行政など多様な主体が、地縁型の住民自治の取組や、地域コミュニティ協議会などの活動と連携することで、互いの役割を補完しあう新しい市民自治を模索し構築することができます。

市民活動団体の問題解決や発展のため、相談や情報提供などの支援を充実させます。また、さまざまな活動をつなぎ、協働による新たな成果を生み出します。

施 策

自治活動の促進

5年後
の
目 標

地域住民の間に日常的な対話が増えて
つながりが生まれ、地域の課題に市民
が主体的に向きあい行動している。

市民活動の活発化と 協働の促進

5年後
の
目 標

生活の充実につながる市民活動が活発
化し、団体の活動や活動団体相互の協
働がまちづくりの力になっている。

■関連計画、条例など

*長岡京市市民協働のまちづくり指針

*長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン



長岡京ガラシャ祭

施策の内容



■市民自治の浸透のため、その基礎単位である自治会活動の充実を図ります。また、校区を単位として、地縁型・テーマ型の活動間の交流や、相互補完の関係づくりを進めます。



■主体的な活動を支えるため、活動の場や情報交換の機会を提供します。団体の立ち上げや活動充実に向けた相談体制の強化、ボランティア団体・人材とのマッチングなど多様な支援を行います。

かがやき

地域活動・市民活動

〔 地域活動・市民活動 〕 に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／自治活動の促進＞

- ◎自治会への加入促進を図るとともに、未組織地域の組織化に向けた支援を図ります。
- ◎すべての校区でのコミュニティ活動の活性化を図るとともに、既存の地域コミュニティ協議会のあり方の見直しを進めます。
- ◎校区内のコミュニティ組織の担う役割を検討し、相互補完の関係づくりを進めます。

事業名称 自治会活動支援事業

各自治会における現状や相互に共通する懸案事項について、情報交換や交流会を継続して実施します。さらに、自治会が組織としての機能を発揮するように、継続的な活動支援として、運営補助と事業補助を行い、住民自治活動を促進します。

指標	自治会加入率			
	現状値 (平成27年度)	59.2%	目標値	62.0%

事業名称 自治会未組織地域における住民自治活動の支援事業

地域課題の解決に向けた検討や住民の親睦活動を目的とした活動に対し、施設の借上げや資料の作成経費等への財政的支援により、新規自治会設立を促進します。

指標	自治会未組織地域率			
	現状値 (平成27年度)	8.7%	目標値	6.4%

事業名称 地域コミュニティ活性化事業

防災や高齢者の見守り等、地域に期待される共助・互助の意識向上を目指し、地域のコミュニティの活性化を進めます。既存の地域コミュニティ協議会のあり方等を見直ししながら、全小学校区でのコミュニティ協議会など校区を単位とした住民連携組織の設立に向け支援します。

また、地域における各種団体の存在意義や役割を明確化し、重複する事業の整理統合等を進め、地域活動団体の負担軽減や連携強化の仕組みづくりを検討します。

指標	小学校区での住民連携組織の設立数			
	現状値	5小学校区	目標値	10小学校区

＜施策／市民活動の活発化と協働の促進＞

- ◎市民活動サポートセンターを軸にしながら、中間支援的機能の充実を図ります。
- ◎市民活動を支える基盤としての場の提供や人材の育成・確保への支援を行います。

事業名称 市民参画協働推進事業

市民活動団体への財政的支援や活動拠点の提供、幅広い市民の参画の促進、情報発信や啓発などを実施します。また、計画的に施策を進めるため、計画の策定及び進行管理を行います。

指標	—			
	現状値	—	目標値	—

事業名称 市民活動サポートセンター管理運営事業

市内のNPO法人などの市民活動団体の広がりや、ステップアップ、団体と多様な主体との連携を促進するため、市民活動サポートセンターを中間的な支援機能を担う拠点として、指定管理者制度を活用し、民間のノウハウを持つ団体が、市民への紹介、団体同士及び団体と市民のネットワークづくりの支援、新規に活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイスを行います。

指標	ネットワークに関する延べ相談件数			
	現状値	51件	目標値	70件

事業名称 多世代交流ふれあいセンター管理運営事業

市西部の地域活動・市民活動を支える拠点として、また世代を超えた市民の幅広い交流を促進し、市民活動、男女共同参画、地域福祉、健康づくり及び生涯学習に寄与する場の提供、充実を図ります。

指標①	多世代交流ふれあいセンター利用者数			
	現状値	32,387人	目標値	38,500人
指標②	多世代交流ふれあいセンター利用登録団体数（生涯学習・市民活動オフィス・男女共同参画・健康福祉のフロア計）			
	現状値	141団体	目標値	168団体

かがやき

地域活動・市民活動



かがやき

人権

5年後の目標

一人ひとりの人権が尊重される居心地のよいまちで、誰もがその人らしく、自らの個性と能力を発揮している。

● 概 況 ●

様々な人権問題が依然として存在しており、情報技術の進展に伴って、人権侵害の態様は複雑化し深刻な事例も後を絶ちません。特に子どもや女性、高齢の人、障がいのある人等に対する暴力・虐待も、近年大きな社会問題となっています。

人権教育や人権啓発の充実と、関係団体・機関等の連携や地域の見守り機能の強化などにより、人権の擁護を図っていきます。また、男女共同参画の視点から、誰もが“自分らしく生きる”ことのできる社会を実現していきます。

また、「いのち輝く長岡京市平和都市宣言」に基づいて、幅広い市民層に対して、平和の大切さをたゆまず啓発していきます。

施 策

人権・平和を尊ぶまちづくり

5年後
の
目 標

一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。

男女共同参画社会の形成

5年後
の
目 標

すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。

■関連計画、条例など

*長岡京市人権教育・啓発推進計画
*いのち輝く長岡京市平和都市宣言

*長岡京市教育振興基本計画
*長岡京市男女共同参画推進条例

*第5次長岡京市障がい者（児）福祉基本計画
*長岡京市男女共同参画計画《第6次計画》



平和学習

施策の内容

かがやき

人権



■人権啓発イベントの開催や発達段階に応じた人権教育、法務局や近隣市町等との連携、地域での見守り体制の強化などに努めて、人権侵害の防止と人権の擁護を図っていきます。



■男女共同参画に関する意識の啓発や、学習・研修機会の充実を図るとともに、男女共同参画を推進する市民の活動を支援します。また、女性に対する暴力等の根絶と被害者支援に、関係機関と連携して取り組みます。

〔 人権 〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

<施策／人権・平和を尊ぶまちづくり>

◎「人権」と「平和」という価値観を大切にし、各種イベントや啓発活動の充実に努めます。

◎障がい者差別の解消や理解促進を図るため「障がい者基本条例（仮称）」を制定します。

事業名称 人権教育・啓発推進事業

全ての市民の基本的人権が守られ個性と能力を発揮することができる社会を目指し、全市民を対象とし「人権啓発作品の募集」と「人権問題研究市民集会」の開催を行います。

指標	「人権問題研究市民集会」の参加者数及び人権啓発作品応募者の総数			
	現状値	4,941人	目標値	5,000人

事業名称 北開田会館運営事業

人権問題解決に向け関係行政機関及び隣保館連絡協議会等と連携するとともに、住民の総合的な生活相談に応じ、自立支援のための適切な指導・助言を行います。

指標	北開田会館における人権啓発事業の利用人数			
	現状値	3,208人	目標値	3,700人

事業名称 平和施策推進事業

戦後70年が経過し、戦争体験が風化しつつある中で、地域の戦争体験（神足空襲）や戦争の悲惨さを伝え、平和の尊さやいのちの大切さを考える機会を提供することにより、市民の平和意識を喚起し、次世代に伝えるため、行政として中立的な立場から「平和を考える市民フォーラム」を中心とする平和施策を推進します。

指標	平和へのメッセージの参加者数			
	現状値	216人	目標値	320人

事業名称 障がい者基本条例の制定

障がいのあるなしに関わらず、みんなが互いに尊重し合いながら共に安心していきいきと暮らせる地域社会の実現が必要です。このため、長岡京市障がい者基本条例（仮称）を制定し、障がい者差別の解消や理解促進の取組を進めます。

指標	障がい者基本条例の制定			
	現状値	未制定	目標値 (平成30年度)	障がい者 基本条例の制定

＜施策／男女共同参画社会の形成＞

- ◎男女共同参画推進条例の理念に基づき、意識づくりや啓発を推進します。
- ◎関係機関と連携しつつ、女性に対する暴力への対策の充実を図ります。

事業名称 男女共同参画啓発

男女共同参画社会の形成には、あらゆる世代の市民が、固定的性別役割分担意識や男女の不平等感を払拭し、多様な選択を可能とする学習機会を得、男女平等・男女共同参画の視点と意識を持つことが必要であるため、男女共同参画フォーラムをはじめとする各種啓発事業の充実に取り組みます。

指標①	審議会等における女性委員の登用率			
	現状値	38.5%	目標値	40.0%
指標②	男女共同参画フォーラムで「男女共同参画意識が深まった」と回答した人の割合			
	現状値	66.3%	目標値	80.0%

事業名称 女性の相談室事業

女性の様々な問題や悩みを広く受け止め、安心して相談できる体制を整備するとともに、分野横断的な情報提供や専門相談による心理的・法的支援との連携により、女性相談の充実を図ります。

また、DV被害者等へのワンストップ支援については、関係機関との連携による支援体制の整備に努めます。

指標	女性相談のうち専門相談の実相談件数と相談実施率（実相談件数÷相談開設枠数）			
	現状値	181件 71.0%	目標値	123件 75.0%

かがやき

人権





かがやき

5年後の目標

生涯学習・文化・スポーツ

誰もが学びの喜びに満ち、文化や歴史に親しみ、運動・スポーツを楽しむ機会が充実し、生活にうるおいと心身の健康を感じている。

● 概 況 ●

多くの市民が、社会教育施設やスポーツ施設などを活用し、生涯学習活動や文化・芸術活動、また、運動・スポーツなどに取り組み、新たな知識や仲間を得ています。

また、長年市内各所の文化財の発掘・調査を進めてきました。

市民生活の身近なところで、活動の場と機会の充実を図ることにより、市民の諸活動をさらに振興し、文化・学習活動を広げたり、健康、体力を保持増進したりするきっかけとなることが求められます。

これからの地域づくりにつながるような、活発な活動を応援します。

施 策

生涯学習環境の充実

5年後
の
目 標

誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につなげている。

文化・芸術の振興

5年後
の
目 標

ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。

スポーツの振興

5年後
の
目 標

心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。

■ 関連計画、条例など

*長岡京市教育振興基本計画

*（仮称）長岡京市ふるさと資料館基本構想

*長岡京市スポーツ推進計画

*第5次長岡京市障がい者（児）福祉基本計画



若葉カップ
全国小学生バドミントン大会

施策の内容



■中央公民館や図書館等を活用して、市民の学習意欲の向上と学習成果を活かした地域づくりを進めます。また、中央生涯学習センター等を拠点とし、市民の自主的な学習、ライフステージに応じた学習の機会を提供します。



■文化・芸術にふれる機会の拡充に努めるとともに、市民の文化活動の発表の機会を確保します。また、郷土の歴史と文化への理解とふるさと意識の高揚のため、市内の文化財についての調査・研究と展示・活用に努めます。



■市民が運動・スポーツに親しむ機会を提供し、健康増進や地域の交流を図るため、総合型地域スポーツクラブの設立と活動を支援します。また交流の場でもあるスポーツイベント等の開催や各種スポーツの競技力や指導力の向上を図ります。

かがやき

生涯学習・文化・スポーツ

〔生涯学習・文化・スポーツ〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／生涯学習環境の充実＞

- ◎生涯学習の機会を創出するため、各種団体やサークル等の活動を支援します。
- ◎中央公民館や中央生涯学習センターの機能を充実します。
- ◎図書内容の充実や開館時間の延長などを通じて図書館サービスの充実と見直しを図ります。

事業名称 各種団体・サークル等活動支援事業

地域の文化力向上のためには、市民の自主的な学習と団体の活動が不可欠です。活発化された活動が地域に還元されることにより、地域全体の文化振興とコミュニティ活動の促進につながるため、社会教育施設としての中央公民館を拠点として活動するサークルや団体の活動を推進します。

指標①	公民館登録サークルの市民参加人数			
	現状値	3,437人	目標値	3,600人
指標②	公民館（社会教育ホール）利用者数			
	現状値	79,916人	目標値	80,000人

事業名称 公民館定期講座開設事業

地域の文化振興と生活向上のためには、生涯学習環境の充実が必要であり、市民の自主的・主体的な学習意欲の喚起を図るために、市民の多様な学習ニーズに対応し、ライフステージや現代的課題に即した学習機会や学習情報の提供、相談体制を充実します。

指標	公民館講座の参加率(参加予定者数÷定員数)			
	現状値	89.8%	目標値	92.0%

事業名称 中央生涯学習センター管理運営事業

市民の自主的・自発的な生涯学習活動の場として、中央生涯学習センターを管理運営します。

指標	中央生涯学習センター貸室利用率			
	現状値	47.8%	目標値	50.0%

事業名称 図書館サービスの推進・充実

市民の教養と文化の発展のため、全ての住民の読書を通じた生涯学習の中核施設である図書館資料を充実するため、図書の計画的な入れ替えを図って行きます。特に読書意欲の醸成を行うには幼少期から図書に親しむことが大切であることから、「えほんのひろば」「子どもの広場」等幼少期から本に親しむ事業を展開しながら、特徴の一つである児童書の充実を図って行きます。また、市民に利便性の高い図書館サービスの充実を図っていくため、開館時間の延長・ブックポストの増設・図書館に来ることができない高齢者・障がい者に対しての図書の宅配サービス等を図書館の運営形態の在り方を含め検討を行います。

指標	図書館図書貸出冊数			
	現状値	410,400冊	目標値	450,000冊

＜施策／文化・芸術の振興＞

- ◎文化・芸術に関する各種事業の一体化と「長岡京音楽祭」の見直し、長岡京記念文化事業団への支援を通じて、「文化のまち」長岡京づくりに取り組みます。
- ◎文化団体や自主活動団体への支援を通じ、市民による文化活動の機会確保に努めます。
- ◎埋蔵文化財調査センターの今後のあり方やふるさと資料館の検討など、文化財の保護、調査・研究の推進、資料等の保存と活用を目指します。
- ◎「乙訓古墳群」や「中野家住宅」などの資源を活用します。

事業名称 文化・芸術のまちづくり事業

文化・芸術の一層の推進を図るため、文化イベントの開催及び運営支援を行います。また、「長岡京音楽祭」を、多様化する市民の文化・芸術ニーズへの充実を図るため見直し、市民の関心が高まる事業展開を図ります。

指標	長岡京芸術劇場の事業数・入場者数			
	現状値	平成28年度 新規事業	目標値	22事業 12,500人

※参考：長岡京音楽祭 6事業 3,295人

事業名称 長岡京記念文化会館運営支援事業

長岡京記念文化事業団に対し運営支援を行い、質の高い舞台芸術の提供と充実を図ります。また、京都府に対して長岡京記念文化会館の機能充実を求めます。

指標	長岡京記念文化会館（ホール）入場者数			
	現状値	97,405人	目標値	102,000人

事業名称	文化活動推進・支援事業
生涯学習や文化芸術への関心の増進と交流を図るため文化団体の文化・芸術活動を推進し、活動支援を行います。	
事業名称	埋蔵文化財調査センター及びふるさと資料館の検討
蓄積された長岡京跡の発掘調査成果を整理及び研究し、その成果を広く展示、公開する場としての埋蔵文化財センターの今後と（仮称）ふるさと資料館基本構想に基づく整備検討を併せて行います。	
事業名称	史跡等整備・活用事業
平成26年度に開園した史跡恵解山古墳公園を広く市民が利用できるよう充実を図ります。また、平成27年度に国の史跡として指定された「乙訓古墳群」の公有化と整備を行い「悠久の都」としての長岡京市の認知度を高めます。	
事業名称	歴史資料活用・保存事業
歴史資料の損失・散逸を防ぐため、市内の未調査の歴史資料を収集・調査、保存・活用に取り組むと同時に調査済みの歴史資料の補充調査を行います。 また、中野家住宅の歴史資料の収集・整理・調査・保存を行うとともに、市民に対して収集した歴史資料及び調査成果を公開・活用します。	

指標	文化まつり等文化団体事業における参加者数（出品者・出演者・鑑賞者）			
	現状値	9,505人	目標値	10,600人

指標	埋蔵文化財センターの啓発事業参加者数			
	現状値	3,600人	目標値	3,600人

指標	乙訓古墳群の利活用及び整備の進捗状況			
	現状値 (平成27年度)	乙訓古墳群の国史跡指定		
	目標値	乙訓古墳群保存整備基本構想の策定		

指標	中野家住宅の所蔵資料の調査と公開			
	現状値	国登録有形文化財「中野家住宅」の寄贈		
	目標値	中野家住宅の所蔵資料の公開		

かがやき

生涯学習・文化・スポーツ

＜施策／スポーツの振興＞

- ◎すべての小学校区での総合型スポーツクラブの設立や市民運動会や市民スポーツイベントの充実を図ります。
- ◎各種スポーツへの参加者の底辺拡大や指導力の向上を図ります。
- ◎スポーツ環境の改善に向けて、既存施設の充実・強化を図ります。

事業名称	総合型地域スポーツクラブ推進事業
生涯スポーツ社会の実現のため、全ての小学校区に総合型地域スポーツクラブの設立に支援を行います。	
事業名称	スポーツ交流推進事業
市民が地域で運動やスポーツに親しむ全市的なイベントを開催します。 また、小中学校の体育施設を開放し、運動やスポーツのできる環境の確保に努めます。	
事業名称	若葉カップ全国小学生バドミントン大会支援事業
全国の小学生にバドミントン競技をする機会を広く提供し、交流と友情を深めるために、若葉カップ全国小学生バドミントン大会の実施を支援します。	
事業名称	スポーツ活動推進・支援事業
スポーツ振興を図るため、長岡京市体育協会の活動へ支援を行います。	
事業名称	スポーツ施設環境の整備
多くの市民が利用する体育館など、運動・スポーツ施設の環境を改善するため施設整備を進めます。	

指標	総合型地域スポーツクラブの設立数			
	現状値	5小学校区	目標値	10小学校区

指標	学校開放利用件数			
	現状値	9,805件	目標値	9,800件

指標	若葉カップ開催支援の継続			
	現状値	若葉カップ開催	目標値	若葉カップ開催支援

指標	府民総体予選会参加市民数			
	現状値	1,146人	目標値	1,300人

指標	体育館等施設利用者数（西山公園体育館・スポーツセンター）			
	現状値	239,289人	目標値	262,500人

「いのち輝く長岡京市平和都市宣言」

平成 12 年 12 月 18 日
議決

こころ豊かで、ゆとりのある平和な暮らしは、私たちの願いです。

人類はいま、冷戦の時代から平和と共生の時代へと踏み出したこの歩みを、さらに確かなものとするために、私たちは薄れつつある戦争の記憶を常に新たにし、その悲惨と災禍の歴史から、平和の尊さをくみとっていかなければなりません。

「歴史を教訓に平和への決意を新たにする決議」を踏まえ、生きとし生けるものが調和し、共生しあって、かけがえのない地球の環境が守られ、人権が尊重され、いのち輝いてこそわが国は真の恒久平和を築くことができます。

新たな 21 世紀を迎えるにあたり、私たち長岡京市民は、それぞれの立場から貢献することを誓い、ここに「いのち輝く平和都市」を宣言します。



- 市街地
- 道路・交通
- 産業
- 防災・安全

新たな都市の魅力を生み出すため、阪急長岡天神駅周辺地区の整備に着手します。また、防災機能の強化を図り、自然環境、都市機能と住生活の調和が保たれたまちを築くとともに、工業、商業、農林業によるさらなる都市の魅力・活力をつくっていきます。



まち

市街地

5年後の目標

自然環境、都市機能と住生活の調和が保たれたまちで、都心拠点の充実と市街地の魅力向上が展望できる。

● 概 況 ●

本市は、西山の自然と良好な住環境、商工業が調和するまちを形づくってきました。高度経済成長とともに発展したまちは、世代交代の時期に差し掛かっています。

中心市街地における都市基盤整備や阪急西山天王山駅周辺地域及び市北部地域の土地活用が求められています。

都市活力の維持・向上のために、公共施設や生活関連施設の集約や再配置を検討します。また、中心市街地の将来ビジョンについて、関係者等と協議しながら方向性を示します。

施 策

中心市街地整備の推進

5年後
の
目 標

歩きやすく、にぎわいのあるコンパクトなまちを目指し、阪急長岡天神駅周辺の将来ビジョンと計画が作成されている。

調和のとれた都市形成

5年後
の
目 標

住・工・商の計画的な土地利用の上で、高い生活利便性を実現し、良好な都市空間が形成されている。

都市機能の再創造

5年後
の
目 標

西山天王山駅周辺をおもてなしの玄関として、人と文化の流れをまちに誘導し、新たな交流とにぎわいを生み出している。

■関連計画、条例など

*まちづくり条例

*第二期都市計画マスタープラン

*長岡京市公共施設等総合管理計画

中心市街地



施策の内容



■長岡天神駅周辺まちづくり協議会、市民・地元関係者や関係機関などとともに、中心市街地整備の基本となる計画を策定します。これを踏まえて、市の中心部にふさわしい駅周辺施設など、都市機能の検討を進めます。



■整備・開発と保全の基本的な方針を事業者・市民と共有しながら、秩序と調和が保たれた都市の形成を図ります。さらに交流を生み出せる環境を整備していきます。



■にぎわいと交流の拠点として3駅を活用し、市域のコンパクトさを活かした都市機能の再編をめざして計画を策定します。空き家対策や公共施設の再編などを通して、まちに賑わいを呼び、市内全体へと広がるネットワークを築いていきます。

〔市街地〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／中心市街地整備の推進＞

- ◎阪急長岡天神駅周辺のまちづくりを推進するため「基本計画」の策定と都市計画変更案の検討を進めます。
- ◎長岡京駅前線の計画的な整備を行うとともに、段階的に「天神踏切の暫定拡幅」の実現や「駅前広場」の検討を行います。
- ◎老朽化しているエスカレーターの改修などJR長岡京駅関連施設の整備を図ります。
- ◎長岡天神駅周辺まちづくりの第1期事業として、市庁舎の建替え及び周辺地域の整備に着手します。

事業名称 阪急長岡天神駅周辺整備事業

まちづくり協議会及び基本計画策定委員会と調整しながら、阪急長岡天神駅周辺まちづくり基本計画を策定します。

また、基本計画に基づく都市計画の変更案を検討し、段階的整備として天神踏切の拡幅の整備や駅前広場についても検討を行います。

長岡天神駅周辺まちづくり基本計画の策定		
指標	現状値 (平成27年度)	まちづくり協議会と検討の開始
	目標値 (平成30年度)	長岡天神駅周辺まちづくり基本計画の策定

※平成31年度…平成30年度策定の長岡天神駅周辺まちづくり基本計画に基づく指標設定

事業名称 長岡京駅前線整備事業

現在施行中の第3工区（111m）については、引き続き事業の進捗を図ります。また、次期整備工区の第4工区については、関係機関と協議を行い、事業推進に努めます。

長岡京駅前線第3工区・第4工区の事業進捗		
指標	現状値 (平成27年度)	第3工区の用地買収率45.0%
	目標値	第4工区の用地買収率25.0%

※平成30年度…第3工区工事完了
平成31年度…第4工区の事業認可

事業名称 JR長岡京駅関連整備事業

駅利用者の市民や乗降客に安全・快適に利用していただくため、老朽化した駅前広場やエスカレーター等のリニューアル工事等に着手します。

JR長岡京駅の関連施設整備事業の推進		
指標	現状値	昭和61年に東西エスカレーター設置
	目標値 (平成30年度)	東口駅前広場整備の検討

事業名称 市庁舎建替及び周辺整備事業

現行敷地と開田保育所跡地を活用し、防災やバリアフリーの機能を備えた市庁舎の建替整備を推進します。併せて、周辺整備を行います。

新庁舎建設における事業の進捗状況		
指標	現状値	庁舎検討部会で協議（庁内組織）
	目標値	新庁舎建設工事着手

＜施策／調和のとれた都市形成＞

- ◎人口減少・少子高齢化を踏まえた都市の形成を図るため、「まちづくり条例」の見直しを図ります。
- ◎新しい都市計画マスタープランに基づくまちの形成を図るため、それぞれのゾーンに応じたプロジェクトの推進を他事業と連携しながら進めます。

事業名称 良好な住環境の推進

老朽化や耐震不足のマンション等の建て替えの促進を図る為、まちづくり条例の見直しを行います。

空き家の利活用として、高齢者世帯から多世代・子育て世帯への住み替えの促進、良好な住環境への景観形成の基準を見直し、より快適なまちづくりを進めます。

まちづくり条例の見直し		
指標	現状値	平成6年策定、平成24年最終改正
	目標値 (平成29年度)	まちづくり条例及び条例施行規則等の改正

事業名称 都市計画マスタープランの推進

地域住民が主体となり、地域の特性を活かしたまちづくりの積み重ねにより、まちににぎわいが生まれます。

下海印寺まちづくり協議会では、京都第二外環状道路整備に伴う地域の整備に一定区切りがつき、新たにゾーニング※された活動目標（小泉川沿線整備）が立てられましたので、それに向けた活動の支援をします。

開田地区では、長岡天神駅周辺整備構想の策定に向けて、関係機関と連携を図れるよう長岡天神駅周辺まちづくり協議会活動の支援をします。

また、第二期都市計画マスタープランで新たにゾーニング※された地域ごとの土地活用やまちづくり、特に北部地域はまとまりのある農地が存在し、現存する福祉・教育分野と併せて、今後の活用を図るなど、地域において協議会の設立に向けた活動を支援します。

指標	まちづくり協議会数			
	現状値	1団体	目標値	3団体

※ゾーニング

区分すること。都市計画や建築設計においては、各地域や空間を用途別に区分すること。

<施策／都市機能の再創造>

◎駅を中心とした利便性の高いまちづくりを推進するための計画づくりを行います。

◎増加が予測される「空き家」の未然防止や利活用の観点からの条例制定を目指します。

◎公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の再編整備に向けた構想を策定します

事業名称 コンパクトシティ推進

持続可能な都市経営を可能とするために、都市全体を見渡しながら、居住や都市機能を誘導すべき区域を設定し、誘導施策などを定める立地適正化計画の策定を行います。

また、計画推進として、都市機能立地支援事業及び都市再構築戦略事業の検討を行います。

指標	立地適正化計画の推進	
	現状値 (平成27年度)	都市の現状分析を基に、居住誘導区域及び都市機能誘導区域の素案が完成
	目標値 (平成29年度)	立地適正化計画に基づく都市再生整備計画の策定

※平成30年度…平成28年度・29年度策定の立地適正化計画・都市再生整備計画に基づく指標設定

事業名称 にぎわいと交流の拠点整備

3駅を利用した都市機能の再編を目指して計画的な整備を推進します。

下海印寺地区の土地区画整理事業への技術支援を引き続き行います。

西山天王山駅周辺の土地利用や規制について、地区計画制度等の導入を図ります。

高速バス停の更なる機能強化を図ります。

指標	西山天王山駅、長岡京IC周辺の計画的整備の推進	
	現状値 (平成27年度)	下海印寺地区土地区画整理準備組合設立に向けて活動中
	目標値	土地区画整理事業の完了

事業名称 空き家対策事業

空き家等対策協議会を設立し、本市の状況に応じた空き家等対策計画や空き家条例を制定します。

山麓住宅ゾーンの良い住環境での高齢者世帯と子育て世帯の3世代の住み替えをスムーズに行うことで、空き家の発生を抑制するとともに利活用に係る改修費等の助成制度等の導入を検討します。

指標	空き家対策事業の進捗	
	現状値	平成28年度新規事業
	目標値 (平成30年度)	空き家条例の制定

※参考：空き家率：9.8%（平成25年度住宅土地統計調査）

※平成31年度…平成29年度策定の空き家対策等計画に基づく指標を設定

事業名称 公共施設検討事業

施設配置の最適化を進めるため、長岡京市公共施設等総合管理計画に基づき、効率的で妥当な施設の更新、維持と運営など「再編整備構想」を策定します。

指標	公共施設再編整備構想実施計画策定	
	現状値 (平成27年度)	公共施設等総合管理計画策定
	目標値	公共施設再編整備構想実施計画の策定



まち

5年後の目標

道路・交通

道路の整備や、交通のネットワーク化が進み、誰もが移動しやすいまちになっている。

● 概 況 ●

道路・交通網の整備においては、従来、渋滞の解消に重心がありましたが、近年では「超高齢社会への対応」「環境負荷の低減」「市民の健康増進」といった視点から、徒歩・自転車や公共交通も組み合わせた、円滑な移動の確保に、その重心を移しています。

鉄道や主要幹線道路の利便性が高いとされる一方で、市内移動については改善が求められています。

継続して行う幹線道路の整備は、中心市街地の整備の方向性などと整合を図りながら、早期の完了を目指します。併せて、誰もがそれぞれの交通手段で安全・安心・快適に市内を通行できるよう、道路等の整備や公共交通の充実を進めていきます。

施 策

交通ネットワークの充実

5年後
の
目標

超高齢社会やエコライフ実践を踏まえた交通ネットワークが充実しており、誰もが安心して快適に移動できている。

道路空間の整備

5年後
の
目標

道路空間の安全性と快適性の向上のため、歩車道の維持・整備が適切に行われ、バリアフリー化が進んでいる。

■関連計画、条例など

*長岡京市公共交通に関する条例

*長岡京市地域公共交通ビジョン

*第5次長岡京市障がい者（児）福祉基本計画

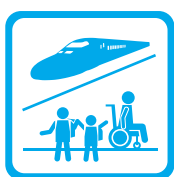


はっぴいバス

施策の内容



■市民や本市を訪れる人の移動のさらなる円滑化のため、鉄道駅を拠点とした徒歩・自転車・公共交通など多様な移動手段による交通ネットワークを充実します。



■幹線道路の早期の整備完了を府市協調のもとで目指します。

■生活道路では、通学時や障がい等のある人の安全に配慮し、快適な道路空間を形成するため、維持・整備、バリアフリー化を計画的に推進します。

〔 道路・交通 〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

<施策／交通ネットワークの充実>

- ◎地域公共交通ビジョンに基づき、民間事業者との連携やコミュニティバスの充実を通じてより利便性の高い公共交通網の構築と利用環境の向上を目指すとともに、その財源確保の手段について検討します。
- ◎市域の交通渋滞の緩和や公共交通の利用促進の観点を含め、市営駐車場の効率的な経営を行います。
- ◎自転車の安全で快適な利用環境の整備と放置自転車防止の取組を推進します。

事業名称 地域公共交通ビジョンの推進

路線バスの運行や車両整備等に関する財政支援、ベンチやバス停上屋の設置等によるバス待ち環境整備を行い、利便性の向上を図ります。

また、市内全域での円滑な移動を行えるようバス路線網のあり方について、市民・事業者と連携し検討を行います。

コミュニティバスの運行について西山天王山駅・西代里山公園等新たな公共施設等への乗入れや休日運行の検討をし、さらなる利便性の向上を目指します。

指標 ①	市内路線バスノンステップバス導入率			
	現状値	54.0%	目標値	100%
指標 ②	はっぴいバス利用者数			
	現状値	133人／便	目標値	15.0人／便

事業名称 市営駐車場管理運営事業

指定管理者制度を活用し、都心部の買物施設等の利用者へのパーク＆ライド※割引の導入によりサービスの向上に努め、駐車場の効率的な管理運営を行います。

指標 ①	長岡京駅西駐車場回転率			
	現状値	270回転／日	目標値	280回転／日
指標 ②	西山天王山駅東駐車場回転率			
	現状値	1.47回転／日	目標値	1.60回転／日

※パーク＆ライド

都市の外縁部において、1人乗り車から鉄道等の大量公共交通機関へ乗り換える手法

事業名称 放置自転車防止事業

歩行者の安全や道路の通行機能の円滑化を保全するために、放置自転車を無くすための自転車等利用者への啓発・指導及び駐輪場への誘導と合わせて、自転車等放置禁止区域での放置自転車の撤去を行います。

指標	放置自転車台数			
	現状値	120台／日	目標値	10.0台／日

＜施策／道路空間の整備＞

- ◎京都府と連携し御陵山崎線の早期整備、長法寺向日線の整備を推進します。
- ◎生活道路の安全で安心な道路空間を創出するため、計画的な舗装復旧や側溝改良による歩道の確保、バリアフリー化、橋梁等の長寿命化を推進します。
- ◎通学路での安心・安全を確保するため、歩道整備や交通安全対策等を計画的に実施します。

事業名称	府施行街路整備事業
	御陵山崎線第3工区については、実施主体の京都府と連携した支援を行い、早期整備に向けた事業の進捗を図ります。 また、第4工区としての御陵山崎線の北伸や長法寺向日線整備事業について京都府と協議を行い、整備促進を図ります。
事業名称	道路リフレッシュ
	歩行者の誰もが安全で安心な道路空間を形成するため、舗装の復旧と併せて老朽化の激しい側溝の改良による歩きやすい歩道の確保など、バリアフリー化を実施します。
事業名称	交通安全施設整備事業
	市内小学校区の通学路の安全対策や歩行者の安全性、快適性を確保するために歩道整備や交通安全対策等整備計画を策定して計画的に実施します。

府施行街路御陵山崎線第3工区・長法寺向日線用地買収率	
指標	現状値 (平成27年度) 御陵山崎線第3工区 0% 長法寺向日線 46.0% 目標値 (平成28年度) 長法寺向日線 100% (平成31年度) 御陵山崎線第3工区 100%

優先的に整備すべき道路延長(2,270m)の整備率			
指標	現状値	(参考)	目標値 100%

※参考… 昭和63年度以前施工分整備済延長 14,548m
昭和63年度以降施工分整備済延長 107,654m

通学路プログラム計画(1,300m)に基づく歩道等整備率			
指標	現状値	通学路プログラム計画策定	目標値 100%

まち

道路・交通



まち

産業

5年後の目標

工業、商業、農林業がさらなる都市の魅力・活力をつくり、市内外からの観光が新たな交流を生み出している。

● 概 況 ●

工業は、本市の発展を支え、都市活力の根幹を担っています。持続可能な都市経営の基盤として、企業にとっての立地魅力を高めることで、新たな雇用の創出も期待できます。

商業では、大規模商業施設と商店街・個店の相補・相乗の効果により、まちのにぎわいがあります。都心整備の中で、新たな商業環境を生み出し、市外からの買い物の魅力も高めていきます。

観光では市内の各所に魅力的な観光資源が点在し、まちのイメージを高めています。これらの素材を効果的に活用し、国内外からの乙訓圏域への観光誘客と地域商業の活性化を図っていきます。

農林業では、その農地が市街地の中にあって、まちに緑のうるおいを添えていることが本市の特長です。様々な特産物を全国に出荷していますが、高齢化や後継者不足の問題を抱えています。地産地消を重視し、農家の安定経営を支援します。

施 策

商工業・観光の振興

5年後
の
目標

都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

営農支援

5年後
の
目標

農地の保全と農家経営の安定の支援と、市民や多様な関係団体と連携した地産地消が進んでいる。

■関連計画、条例など

*長岡京市企業立地促進条例

*創業支援計画

*観光戦略プラン

*長岡京農業振興地域整備計画

*農業経営基盤強化促進基本構想

*長岡京市鳥獣被害防止計画



長岡京駅東口側

施策の内容



- 東部工業地区を中心に、市内に立地する企業にとって魅力ある操業環境を守り、新たな企業の誘致策を講じます。引き続き、市内商工業者の事業活動の支援を行います。
- また、民間の活力を最大限に活用し、観光と商業の連携によるまちの魅力づくりや誘客促進に取り組みます。



- 特産物中心の農業振興による農業収入の安定化と農地の有効活用・効率的利用を促進します。
- また、地産地消の拡大のため、PR イベントを支援し、市民が地元の農林産物を知り、購入する機会を増やします。

まち

産業

〔産業〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／商工業・観光の振興＞

- ◎新たな企業誘致を推進するため、用地確保に向けた庁内の連携体制を強化します。
- ◎退職後の高齢者や子育てがひと段落した女性などに焦点を当てた創業・起業の支援に取り組みます。
- ◎商工業者の経営基盤の安定や魅力の向上を図るため、経営相談や販路開拓などを進める商工会の支援を図るとともに、老朽化しつつある産業文化会館の今後のあり方を検討します。
- ◎観光を取り巻く環境の変化に対応するため、観光基礎調査や観光バスの駐車場整備を行うとともに、観光戦略プランを見直します。
- ◎観光と農工商の連携のもと、歴史遺産や観光名所・特産品などの情報を活用し、多様で個性豊かなサービスを提供する「道の駅」的施設の実現を目指します。

事業名称 創業支援事業

創業者の増加は市内商店の増加だけではなく、課題となっている空き店舗対策や、小売店増加による市民の生活基盤安定等、地域経済の活性化や生活基盤の安定にも繋がるものであることから、創業支援計画に基づいて、創業・起業希望者の支援を行います。

指標	新規創業相談者数			
	現状値	平成28年度 新規事業	目標値	130人／年
指標②	新規創業者数			
	現状値	平成28年度 新規事業	目標値	43人／年

事業名称 商工会支援事業

地域商工業の発展や、中小企業の育成を推進するため、商工会の組織強化と実施する経営指導や人材育成など各種事業を支援します。また、高齢者や子育て世帯へのプレミアム付き商品券事業の新たな展開を図るとともに、「婚活」事業にも支援を行い定住促進に繋がります。

指標	商工会員数			
	現状値	1,084人	目標値	1,160人

事業名称 企業誘致の促進

既存企業や事業所の動向を注視しつつ、京都府や長岡京市経済協議会との情報共有を図るとともに誘致促進に向けた体制を整えるため、特に東部工業地域における農家の意向調査や土地所有者への情報提供を行い、誘致施策に取り組みます。

指標 ①	企業進出に係る相談件数	
	現状値	5 件（平成22～26年度累計）
	目標値	4 件【14件】 ※【 】内は期間累計
指標 ②	5 年間で企業立地促進助成対象となった 企業数（累計）	
	現状値	1 件 （平成26年度単年度助成対象企業数）
	目標値	3 件

事業名称 産業文化会館維持・更新事業

老朽化が著しい産業文化会館について、建替えや移転、複合施設への再編など商工会や会館運営委員会との協議・検討を進めるとともに、公共施設検討会議の中でも優先課題として検討を進めます。

なお、修繕対応については計画的に取り組み、施設の維持管理を適切に行います。

指標	産業文化会館年間利用者数			
	現状値	70,963人 （平成22～26年度5か年平均）		
指標	目標値	71,000人		

事業名称 観光戦略プランの見直しと推進

観光戦略プラン推進本部会議を本市の観光施策展開におけるシンクタンクと位置付け、マーケティング調査結果や各種事業結果の分析に基づいたアクションプログラムの見直しを行います。また、包括的な視点で進捗管理を行うことで、より魅力的なまちづくりと効果的な観光誘客促進につなげます。

観光戦略プラン及びアクションプログラム見直し	
指標	現状値
	平成17年度策定
	目標値 (平成28年度)
	観光戦略プラン及びアクションプログラム見直し

※平成29年度 … 平成28年度見直しの観光戦略プラン及びアクションプログラムに基づく指標設定

事業名称 観光誘客のための環境整備事業

観光バス駐車場（待機所）の計画的な整備や、物流・販売・にぎわい創出拠点としての農・商・観連携による「道の駅」的施設の設置検討を行うなど、観光誘客インフラ整備の充実を図ります。また、高速バス停や阪急西山天王山駅などを活用した新たな誘客・消費システムの構築に向けた各種事業の展開を図ります。

併せて乙訓二市一町や京都府北部、京都市などと「広域連携」をキーワードに広域的な事業展開を図ります。

道の駅的施設設置	
指標	現状値 (平成27年度)
	庁内ワーキンググループでの検討
	目標値 (平成31年度)
	道の駅的施設の竣工及び施設運営委員会設立

まち

産業

<施策／営農支援>

◎農業所得の向上と農地の保全を図るため、特産物の生産の安定と拡大を目指すとともに、安定的な需要の掘り起こしや販路の拡大を行います。

◎食育と農業振興の観点から地産地消を推進するため、地産地消推進協議会の活動を活性化します。

事業名称 特産物育成事業

生産から販売までを支援することにより、特産物の価値を高め、生産の安定、農業所得の向上、担い手の確保や農地の保全を図ります。

特産品（花菜、ナス、タケノコ）出荷量	
指標	現状値
	花菜58t、ナス181t、タケノコ173t
	目標値
	前年度を下回らない

※前年度を下回らない … 毎年度の目標

事業名称 地産地消推進事業

食育と農業振興の観点から地産地消推進協議会が核となり、地元産農林産物の需要と供給のバランスを勘案しつつ納入等販路と地域内消費の拡大を図ります。

地元産農林産物の学校給食への納入実績金額			
指標	現状値	目標値	
	832万円	1,000万円	

事業名称 鳥獣対策事業

西山一帯に設置した防護柵の効果的な維持管理と野生動物の駆除を行うとともに、猟友会への活動支援と鳥獣捕獲の連携強化を推進し、農作物の被害軽減を図ります。

鳥獣による農作物の被害面積			
指標	現状値	目標値	
	203 a	163 a	



まち

防災・安全

5年後の目標

防災機能が強化されたまちで市民生活の安全が守られ、地域のつながりによる日常生活の安心が保たれている。

● 概 況 ●

防災対策として、地震・浸水対策を順次進めており、一定の安全確保ができています。また、防犯・交通安全などの日常の安心は、地域や市民一人ひとりの意識と行動で保たれています。

しかし、阪神・淡路大震災、東日本大震災の発生や南海トラフ地震が近い将来発生するとの予測などから、地震対策の充実への要請がより一層強まっています。また、局地的集中豪雨の頻発により、浸水対策の重要性も高くなっています。日常の安心も、自転車事故の増加をはじめとする新たな都市的課題への対応や、増え続ける単身世帯を含めた地域防犯へのサポートが重要となっています。

防災施設の能力向上とともに、地域の防災・防犯などへのサポートを強めていきます。

施 策

都市の防災機能の向上

5年後
の
目 標

市民の生命・財産が地震や浸水被害などから守られるよう、自然との調和を保った適切な防災対策が図られている。

災害時に生きる ネットワークづくり

5年後
の
目 標

災害が発生しても適切な対応ができるよう、様々な主体が、平常時からタイムラインに沿った行動計画の策定や、訓練において協働し、知識普及と意識啓発に努めている。

安全・安心な地域づくり

5年後
の
目 標

自助、互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。

■関連計画、条例など

*長岡京市地域防災計画 *長岡京市建築物耐震改修促進計画 *長岡京市公共下水道雨水長寿命化計画（今里雨水ポンプ場）

*長岡京市公共下水道事業計画 *水循環再生プラン実施計画《第1期》

*京都府桂川右岸流域関連 長岡京市公共下水道事業計画 *交通安全対策基本法 第10次京都府交通安全計画



防災訓練

施策の内容



■市役所庁舎をはじめとする公共施設等の耐震化を積極的に推進します。浸水の被害軽減のための河川・水路の流下能力の維持・確保に努めます。

■また、災害対策本部の機能強化や避難所機能、備蓄の充実、早期のライフラインの復旧の方策の検討など、発災時から災害終結時までの対応力を高めます。



■情報提供により市民の防災に対する知識普及と意識啓発につなげ、自主防災組織等の育成支援を通じて地域の防災活動を促進します。

■防災関係機関との連携強化を図るとともに、地域防災を担う人材の育成や、災害ボランティアセンターの機能拡充のための支援を行います。



■地域の防犯活動の支援・促進、交通安全啓発や、各世代を対象とした交通安全教育の支援を行います。

〔 防災・安全 〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／都市の防災機能の向上＞

◎雨水貯留機能の向上に向けた学校施設の整備や雨水貯留タンクの普及と、雨水浸水対策の総合的・計画的な整備を促進します。

◎防災情報伝達手段の段階的な整備を図るとともに、災害対策本部の機能を強化します。

◎マンホールトイレの整備や避難所・備蓄物資の計画的な整備を推進します。

事業名称 雨水浸水対策事業

京都府いろは呑龍南幹線一部供用開始に向け、連携して事業を推進します。

神足ポンプ場更新を含めた犬川排水区および風呂川排水区の浸水対策に雨水対策検討会議を中心に全庁的に取り組みます。

事業名称 水循環再生プラン（雨水）事業

水循環再生プランに基づき、公共施設への雨水貯留浸透施設の整備を行います。

環境問題への意識向上と水資源の有効活用による日常生活の利便性向上のため、雨水貯留タンクの購入経費の助成を行います。

事業名称 今里雨水貯留幹線関連の維持管理事業

今里雨水貯留幹線施設は、浸水対策上重要な施設であることから継続して適正な維持管理更新を行っていく必要があります。ライフサイクルコストの最小化の観点からも長寿命化計画に基づき、施設更新を行います。

事業名称 防災情報伝達手段の整備事業

災害時に気象情報や防災情報、避難情報等を緊急に市民等に伝達するため、「防災情報お知らせメール」の登録を促進します。また、停電時等に効果的なデジタル防災行政無線を導入し、小中学校への情報伝達手段としてJアラート※機器を増設します。

事業名称 避難所機能及び防災備蓄物資等の充実

東日本大震災の教訓に基づいた備蓄計画に従い、備蓄用食料の拡充、物資供給協定に基づく、流通備蓄の確保に努めます。

避難所機能充実に向けて、避難者数500人以上収容の公共施設へのマンホールトイレの整備、テント、発電機等の避難所運営資機材の充実を図ります。また、避難所における情報入手の手段として、避難所設置が予定される施設内に、テレビやラジオ、インターネット通信機器の整備を行います。

事業名称 南部地域防災拠点の整備

防災機能の向上をめざし、南部地域防災拠点を整備します。

事業名称 住宅・建築物耐震改修等事業

市民の生命と財産を守るため、地震による被害を最小限にとどめることを目指し、耐震化に関する啓発を行うとともに、耐震診断・耐震改修に係る費用負担の軽減を行います。

また、エコリフォーム事業とのタイアップを行うことで、更なる負担軽減を図ります。

指標 10年降雨確率に対する雨水整備率 (平成37年度まで整備予定面積576ha)			
現状値	65.9%	目標値	69.8%

指標① 小中学校での雨水貯留浸透施設設置数(累計)			
現状値	0施設	目標値 (平成30年度)	3施設

※平成31年度…平成30年度見直しの水循環再生プランに基づく指標設定

指標② 雨水貯留タンク設置数(累計)			
現状値	349基	目標値	650基

指標① 今里雨水ポンプ場長寿命化計画進捗			
現状値 (平成27年度)	長寿命化計画 の策定	目標値	長寿命化改築 工事完了

指標 防災情報お知らせメール登録者数			
現状値	1,600人	目標値	8,000人

※Jアラート（全国瞬時警報システム）

津波警報、緊急地震速報、弾道ミサイル情報等といった緊急情報を、消防庁から市区町村の防災行政無線を自動的に起動させることにより、住民に伝達するシステム。

指標① 防災食料備蓄数			
現状値	35,898人分	目標値	76,000人分
指標② 避難者数500人以上収容の公共施設(21施設)へのマンホールトイレ整備割合			
現状値	16/21	目標値	21/21

指標 南部地域防災拠点の整備			
現状値	南部地域防災拠点実施設計	目標値	防災拠点としての備蓄及び資機材の充実

※平成28年度…南部地域防災拠点完成

指標 旧耐震木造住宅に対する耐震診断士派遣事業の実施件数(累計)			
現状値	287件	目標値	425件

<施策／災害時に生きるネットワークづくり>

- ◎全小学校区一斉での防災訓練実施を目指すとともに、訓練内容の充実を図ります。
- ◎災害ボランティアセンターの充実強化と、自主防災組織や地域における防災人材の育成を図ります。
- ◎災害時要配慮者支援の体制づくりを推進します。

事業名称	防災訓練等実施事業
	大規模な災害の発災時に被害を最小限にとどめるために、平成32年度までに全小学校区における、住民主体の一斉防災訓練が実施できるよう支援します。 災害時に市民と行政が協働で運営する「避難所運営委員会」を平成29年度までに1小学校区で設置し、その後、全小学校区での設置をめざします。
事業名称	自主防災組織強化事業
	研修会等プログラムを実施し、地域の中に防災知識と地域事情に熟知した防災リーダーを育成します。 自主防災組織の充実と自主防災組織が未組織である自治会へ組織化に向けた働きかけを強化します。
事業名称	災害ボランティアセンター充実事業
	市と災害ボランティアセンターが連携し、防災に関する研修会や人材育成を行います。 南部地域防災拠点については、備蓄倉庫の機能とともに、災害ボランティアセンターが行う事業の実施場所としても活用します。
事業名称	災害時要配慮者支援体制づくり
	災害時にひとりで避難することが困難な人（災害時要配慮者）の把握と避難支援に向けた個別計画の策定に取り組み、災害時要配慮者に対する地域での避難支援体制の整備を進めます。

指標	小学校区毎の防災訓練実施数			
	現状値	1小学校区	目標値	10小学校区

※現状値は、校区持ち回りによる全市一斉訓練の実施

指標	自主防災組織結成数			
	現状値	53団体	目標値	58団体

指標	災害ボランティアセンターと連携した研修会・講座の実施回数			
	現状値	22回	目標値	58回

指標	災害時要配慮者支援制度登録率（災害時要配慮者名簿における同意名簿登録者数÷全体名簿登録者数）			
	現状値	38.0%	目標値	50.0%

まち

防災・安全

<施策／安全・安心な地域づくり>

- ◎地域における防犯力を強化するため、防犯カメラの普及拡大や防犯活動団体への支援を行います。
- ◎各世代に応じた交通安全教育・事業を促進します。

事業名称	防犯啓発・活動支援事業
	防犯委員会の活動や地域住民の自主的な防犯活動等に対し、活動支援を行います。 市と警察が協定を締結し、市民、行政、警察の相互連携により、安心・安全が実感できる住みよいまちづくりを推進します。 街頭防犯カメラについては、地域の自主的な取組による設置手法を検討します。
事業名称	交通安全普及事業
	交通事故の減少を図るため、交通ルールの遵守、マナーを普及するための指導者育成や、啓発活動を行います。 特に、自転車事故が多いことから、自転車の安全指導や啓発を強化し、合わせて自転車通行空間の確保について調整を行います。 また、新たな「ゾーン30」の検討や幹線道路における交通安全対策のための「事故ゼロプラン」の推進に努めます。

指標	自主防犯活動実施回数			
	現状値	111回	目標値	120回

指標①	市内交通事故発生件数			
	現状値	199件	目標値	169件
指標②	市内交通事故負傷者数			
	現状値	239人	目標値	203人

「交通安全都市宣言」

昭和 53 年 3 月 6 日
市議会議決

交通事故をなくすことは、全人類の長年の願いである。

交通事故による人命の損傷はあとをたたず、毎年多くの犠牲者を出している。

このため、歩行者、運転者ともども交通ルールの厳守を誓い、市民の総力をあげ交通の安全につとめ、明るく住みよい生活環境の向上をめざし、ここに長岡京市を「交通安全都市」とすることを宣言する。



- 環境共生
- 水資源
- 循環型社会
- 都市景観

“環境の都”として循環型社会づくりを進め、自然の恵みや魅力を生活の中で実感できるまちを築いていきます。



みどり

5年後の目標

環境共生

市民・企業等との協働のもとで環境共生のまちがつけられ、西山の森林の美しさと生物多様性が保たれている。

● 概 況 ●

市民・企業等をメンバーとする西山森林整備推進協議会が西山の整備を始めて10年以上が経過し、市域内の森林約800haのうち3分の1以上の整備が進みました。「天然水の森 きょうと西山」のエリアでは、企業活動との連携のもとで、地下水と生物多様性を守るための森林整備を展開しています。

また、美しい森林と豊富な地下水に恵まれたまちとして、環境負荷が小さく快適なライフスタイルへの転換の提唱は早くから進み、平成21年には「“環境の都”長岡京市環境都市宣言」を行ったところです。

この志を未来に継いで、西山が象徴する本市の自然環境と、快適な生活環境との調和を保っていきます。

施 策

西山の整備

5年後
の
目標

市民・企業などの協働によって西山が整備され、市域の森林の3分の1以上が健全な状態で維持管理されている。

生活環境の保全

5年後
の
目標

大気・水質、騒音などの環境基準が守られ、自然環境と調和した、快適で健康的な生活環境が保全されている。

■関連計画、条例など

*西山森林整備構想

*長岡京市森林整備計画

*“環境の都”長岡京市環境都市宣言

*長岡京市第二期環境基本計画

西山森林保全活動



施策の内容



■西山の生物多様性、水源涵養とCO₂吸収、土砂災害防止等の機能を守り、森林の荒廃を防ぐため、間伐や植樹、周辺竹林の管理による整備を進めます。市全体で西山を守るため、長岡京市森林組合を支援し、西山森林整備推進協議会の活動を推進します。



■生活環境の変化をいち早く捉えるため、市独自の環境測定・監視を行います。光化学スモッグやPM2.5についての対応を継続します。

■また、エコライフの実践を促進するとともに、自然や生き物などに親しむことを通じた環境教育を実施します。

みどり

環境共生

〔環境共生〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／西山の整備＞

- ◎西山森林整備構想に基づき、造林・除間伐等の森林整備を推進します。
- ◎西山森林整備推進協議会の活動を通じて、市民、企業、森林所有者、行政などが一体となった森林整備に取り組みます。
- ◎森林や竹林資源の活用を拡大を行います。

事業名称 西山における森林保全活動の推進・啓発事業

改定した西山森林整備構想に基づき、具体的な森林整備方針を定め、産官学民連携の組織である西山森林整備推進協議会と連携して、ボランティア運動と森林保全活動の推進と啓発を促進します。

指標	森林ボランティア団体数			
	現状値	21団体	目標値	24団体

事業名称 西山における森林整備推進事業

西山の森林機能を維持・回復させるとともに、生物の多様性を保持するため、西山森林整備構想を基本として環境面や公益的観点に配慮した整備を継続的かつ適正に実施します。

指標	西山森林整備面積（累計）			
	現状値	261.68ha	目標値	312.00ha

事業名称 木竹資源の利活用事業

市内で伐採された木材を公共建築物や内装材、調度品、薪などへ多種多様な利用を図るとともに、竹林整備により発生した竹材を竹粉や竹チップとして有効利用を進め、資源循環利用の仕組みづくりを推進します。

指標	竹粉・竹チップの活用量（累計）			
	現状値	平成27年度 新規事業	目標値	100m ³

＜施策／生活環境の保全＞

- ◎生活環境の基礎となる各種指標やデータの測定に取り組みます。
- ◎“環境の都”長岡京を市民ぐるみで実現するため、学校や環境活動団体の支援や連携を強化します。

事業名称 環境監視事業

大気・水質・騒音・振動等の状況について調査・把握・評価を行い、生活環境保全のための監視・指導を行います。

指標	小畑川、小泉川の透視度：30cm以上、 BOD：2mg/ℓ以下、PH：6.5～8.5の維持状況			
	現状値	◆小畑川（井ノ内橋） 透視度：27cm BOD：1.1mg/ℓ PH：7.9 ◆小泉川（西代橋） 透視度：30cm以上 BOD：0.5mg/ℓ以下 PH：7.7		
	目標値	指標に掲げる状態の維持		

事業名称 環境都市宣言啓発推進事業

環境フェア等の実施を通じて、市民の環境活動への参加を促し、“環境の都”長岡京の実現のため取組を進めます。
また、西代里山公園を拠点に、環境活動団体がつどい、協働による環境まちづくりを進めます。

指標	環境フェアへの参加団体・企業数			
	現状値	31団体	目標値	34団体

みどり

環境
共生





水資源

5年後の目標

安全でおいしい水が供給され、使用後もきれいな水として^{かえ}還し、公共の水域の水質を保全している。

● 概 況 ●

西山が^{かん}涵養する地下水と府営水の二元水源によって、安全な水道水を安定して供給しています。また、使用済みの水は、洛西浄化センターにおいて適正に処理した後に桂川に放流することで、公共用水域の水質を確実に守っています。

水道事業は「水道ビジョン」に基づき、老朽施設の更新や耐震化、施設統合を行い、効率的な水運用に努めています。地下水を将来にわたって利用するため、新しく浄水設備を追加しています。また、下水道事業では、特定事業所から排除される下水の水質検査・指導なども行っています。

施 策

水資源の保全

5年後の目標

企業・市民の理解と協力のもと、地下水の適切な利用により、良質な水資源が保全・継承されている。

水の安定供給

5年後の目標

地下水と府営水の二元水源によって十分な給水量が確保されて、安全で良質な水道水が安定的に供給されている。

下水の適正処理

5年後の目標

下水道施設・設備の更新が着実に進み、下水の適正な処理によって、公共用水域の水質が保全されている。

■関連計画、条例など

*長岡京市水道ビジョン

*長岡京市公共下水道事業計画

*京都府桂川右岸流域関連 長岡京市公共下水道事業計画

*長岡京市公共下水道長寿命化基本計画・実施計画

「水」



施策の内容



■地下水を将来にわたって利用するため、水資源の保全と適切な利用についての市民理解を促進します。また、水道水利用や企業の操業に必要な地下水が安定して確保できるよう、地下水位・使用量の観測を継続します。



■地下水と、日吉ダムを水源とする府営水の二元水源によって、給水量の安定的な確保に努めます。また、水道施設の維持管理や更新を行うことで、安全で安心な水道水を家庭等に供給します。



■下水道への接続促進による生活環境の向上、老朽施設の耐震化を兼ねた改築更新を計画的に行います。下水道によって集約した生活排水を適正に処理し河川に放流することで、公共用水域の水質を守ります。

みどり

水資源

〔 水資源 〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／水資源の保全＞

◎地下水を保全するため、水資源の適切な利用や観測を継続的に行います。

事業名称 地下水の保全事業

地下水を将来にわたり安定した水量で使用していくため、定期的な取水設備の更新と紫外線浄水処理施設の整備を行います。

指標	地下水水位測定 of 継続			
	現状値	取水井戸の 水位測定の実施	目標値	測定の継続

※参考 … 取水井戸5本の平均静水位 8.05 m

＜施策／水の安定供給＞

◎京都府や府営水道受水市町と連携し、安定的かつ効率的な二元水源の確保を図ります。

◎水道ビジョンに基づき、安全で安心な水道水を供給するため、鉛製給水管の取り替えや施設の耐震化を実施します。

◎安定的かつ効率的な事業運営を継続するため、多様な事業の広域化を検討します。

事業名称 低廉な水の安定供給事業

地下水と府営水道の二元水源により安心で安全な水を安定供給するとともに、京都府と受水市町が連携し、効率的な水運用により低廉な水道料金での事業運営に努めます。

指標	水道水における府営水ブレンド率			
	現状値	47.3%	目標値	50.0%

事業名称 基幹管路の耐震化事業

自然災害や経年劣化による基幹管路の損壊は市民生活への影響も大きく、復旧にも長時間を要します。自然災害等に負けない強靱な水道施設とするため、計画的に更新・耐震化を進めます。

指標	上水道基幹管路耐震化率			
	現状値	31.6 %	目標値 (平成31年度)	40.0 %

※平成32年度 … 平成31年度策定の中期経営計画に基づく指標設定

事業名称 鉛製給水管の取替促進事業

蛇口からの水質保全や漏水防止のため、既存の鉛製給水管の取り替えを順次進めます。

指標	鉛製給水管残存率			
	現状値	14.3%	目標値 (平成31年度)	6.0%

※平成32年度 … 平成31年度策定の中期経営計画に基づく指標設定

事業名称 多様な形態の広域化の検討事業

水需要の減少により水道料金収入は減少する一方、老朽施設の更新や耐震化など事業費用は増加する見込みとなっています。市水道事業単独での効率化にも限界があり、水道事業を継続して安定経営するため、水道施設の共同使用や経営の統合など広域化を検討します。

新たに策定する上下水道ビジョン(平成32～41年)に多様な広域化の方向性を反映			
指標	現状値	乙訓上水道事業連絡協議会で多様な広域化について検討	
	目標値 (平成31年度)	新たに策定する上下水道ビジョンに多様な広域化の方向性を反映	

＜施策／下水の適正処理＞

◎下水道未普及地区における整備を推進します。

◎下水道長寿命化計画の着実な推進と、新たな計画の策定を行います。

事業名称	下水道（汚水）の築造事業
安全で快適な生活環境を提供するため、下水道整備計画区域内の全ての市民が下水道を利用できるよう未普及地区での整備を進めます。	
事業名称	下水道長寿命化事業
公共下水道施設の老朽化に伴う道路陥没等により、人身事故や交通障害を招かないよう第1期長寿命化計画（平成26～30年度）に基づき、改築・修繕を進めます。また、平成29年度に次期長寿命化計画（平成31～35年度）を策定します。	

指標	下水道整備率			
	現状値	99.7 %	目標値	100 %

指標	下水道管きょ更新事業の進捗	
	現状値 (平成27年度)	第1期長寿命化計画に基づく、改修工事、修繕の実施
	目標値 (平成30年度)	第1期長寿命化計画に基づく改修工事、修繕の実施。次期長寿命化計画に基づく改築・修繕の詳細設計

※平成31年度 … 平成29年度策定の次期長寿命化計画に基づく指標設定

みどり

水資源





みどり

5年後の目標

循環型社会

資源・エネルギーが効率よく循環する社会づくりが進んで、市民生活による環境への負荷が小さくなっている。

● 概 況 ●

ごみの発生抑制とリサイクルを推進し、限られた資源の有効利用を進めています。排出されたごみは、市と乙訓環境衛生組合で適正に処理していますが、ごみ処理経費の増大や、最終処分場の埋め立て容量が平成43年度には満杯になると予測されることなど、市民を交えた議論を踏まえて、一段と取組を推進していく必要があります。

また、地球温暖化問題に対する取組を進めてきていますが、市の温室効果ガス排出量は増加傾向にあります。省エネルギーのいっそうの推進や再生可能エネルギー利用への転換などをはじめとしたエコライフの実践をさらに進めるため、情報提供や環境教育の充実、市民による環境活動の支援などを進めていきます。

施 策

低炭素社会への転換

5年後
の
目 標

省エネルギー、再生可能エネルギーの普及など、低炭素社会への取り組みが進み、環境への負荷がさらに低減している。

ごみの減量と適正処理

5年後
の
目 標

市民と行政の一体となった取り組みにより、ごみの減量・分別と適正処理・リサイクルがいっそう進んでいる。

■関連計画、条例など

*一般廃棄物処理基本計画

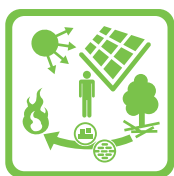
*長岡京市第二期環境基本計画

*長岡京市地球温暖化対策実行計画《区域施策編》



小学校での出前授業

施策の内容



■地球温暖化防止に寄与するため、一段の省エネルギーのためのエコライフ実践を通じた、太陽光や木質バイオマス利用など再生可能エネルギーの普及、また、公共交通の利用促進や学校と連携した次世代教育などを通じた低炭素社会への転換を促進していきます。



■資源の有効利用とごみの減量、適正処理を推進し、最終処分場の受容量の限界を踏まえた延命と新規用地の確保に向けて、乙訓二市一町で協議を進めます。

みどり

循環型社会

〔循環型社会〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／低炭素社会への転換＞

- ◎市民・事業者・行政がそれぞれの役割において、地球温暖化対策実行計画に基づく事業を推進します。
- ◎省エネルギー社会の促進や再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組みます。

事業名称 省エネ・省CO₂整備推進事業

市域全体で地球温暖化問題に取り組むため、地球温暖化対策実行計画に基づく施策展開と進捗管理を進めます。市域の温室効果ガス排出量の削減のため、省エネルギー及び再生可能エネルギー設備の情報提供や設置助成を実施します。

指標	1世帯あたりの平均電気使用量			
	現状値	4,475kWh ／年	目標値	4,025kWh ／年

事業名称 環境への意識向上推進事業

低炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルをあらゆる世代の人に浸透させるため、市民、事業者、学校等と連携しながら環境に関する様々な広報、イベント・学習会の開催などに取り組みます。また、公共交通機関の利用などエコライフの啓発にも取り組むとともに、環境問題に取り組む団体や事業者に対しても活動を支援します。

指標	環境学習会等の開催回数・参加者数			
	現状値	9回 276人	目標値	10回 315人

＜施策／ごみの減量と適正処理＞

- ◎ごみの最終処分場である勝竜寺埋立地の現状を踏まえ、市民のごみ減量への理解を促進するとともに、乙訓二市一町での連携した対策を検討します。
- ◎家庭系・事業系を含めごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、ごみ処理の有料化も含めた検討を行います。
- ◎ごみ収集やし尿収集の安定的・効率的な体制整備を推進します。

事業名称 一般廃棄物の適正処理及び減量化啓発事業

平成43年度に受容量の限界が見込まれる埋め立て地の延命化を図るため、生ごみや紙ごみを中心に更なるごみの減量化とリサイクル推進のための啓発活動を実施します。特に家庭系可燃ごみ削減のための「食品ロス削減運動」や事業系ごみ削減のための「(仮)オフィス町内会」システムを構築します。

また、新たなごみ減量の方策を検討します。

指標	家庭系ごみ(可燃) 1人／1日あたり排出量			
	現状値	471g	目標値	433g

事業名称 分別によるリサイクル推進事業

資源の有効活用と減量意識の高揚を図るためには市民参加型のごみ減量施策が重要であるため、自治会や各種団体など地域レベルの活動に対する支援を行います。

指標	リサイクル率 (資源化量+集団回収量)／(ごみの総量+集団回収量)×100			
	現状値	14.9%	目標値	26.4%





都市景観

西山から農地・住宅地につながる緑の流れなど、魅力的な都市の景観が協働のもとでつくられ、守られている。

● 概 況 ●

本市には、西山から農地・住宅地につながる豊かな緑の流れがあります。これは、まちの発展の過程で、住宅地開発において市街地の中に農地を残し、また、地区計画等によって住環境の魅力をつくり、守ってきたものです。

身近な緑は、1,000人を超えるみどりのサポーターをはじめとする市民の手によって、大切に育てられています。

こうした景観をはじめ、八条ヶ池や西国街道などの歴史的景観、あるいは、秩序ある都市景観をつくり守るため、市民との協働のもとで市の景観計画を推進してきました。景観保全と形成についての市民の理解や実践は、既に緩やかながら浸透してきており、今後さらに、良好な都市景観の保全と形成を誘導していきます。

施 策

良好な景観の保全

5年後
の
目 標

西山から市街地への緑の流れが活かされ、市民や事業者とともにつくっているまちのたたずまいに、市民や訪れる人がやすらいでいる。

都市緑化と水辺環境整備

5年後
の
目 標

暮らしにみどりが寄り添い、公園や水辺を市民と協働のもとで整備し、市民が憩える場が広がっている。



施策の内容



■市民・企業等との協働を軸に、景観形成への市民理解の促進、地域の特性に配慮した規制基準の見直し、また、景観重点地区の指定等を進めます。これらを通じて、本市の都市景観の保全と魅力のさらなる向上を図ります。



■都市の貴重な緑である公園を、市民がより心地よく過ごせる場となるよう整えます。市民が主体となる都市緑化の活動を促進し、住む人・訪れる人を和ませる緑と水の空間を充実させます。

〔都市景観〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

<施策／良好な景観の保全>

◎良好な都市景観を守り保全するため「長岡京市景観計画」を発展的に見直します。

◎歴史を感じさせる景観形成のため、西国街道の整備を実施します。

事業名称 都市景観形成事業

「長岡京市景観計画」はステップアップの時期に来ており、良好な景観を守り、創出するため、計画を見直し、重点地区の指定や地域特性に応じた基準を設定します。

「長岡京市景観計画」の内容見直し			
指標	現状値	平成20年策定	
	目標値 (平成30年度)	新景観計画の策定 (「長岡京市景観計画」の変更)	

※平成31年度…平成30年度策定の新景観計画に基づく指標設定

事業名称 西国街道整備事業

長岡京市の歴史・文化を発信した西国街道を、歩きやすく安全で安心できる道路空間として確保するとともに、歴史建造物等との調和する道路景観とするため、石畳風の舗装整備を実施します。

また、既存の石畳も計画的に改修を行います。

市南部地域における西国街道石畳風舗装整備率（総延長810m）			
指標	現状値	平成28年度 新規事業	目標値 (平成30年度) 100%

<施策／都市緑化と水辺環境整備>

◎西山公園全体計画の見直し、西山公園の全体の魅力向上を図るため、「みどりの基本計画」を改定します。

◎勝竜寺城公園や長岡公園などを含めた既存公園の改修や更新を計画的に実施します。

◎まち全体の緑化を推進するため、市民ぐるみでの運動を促進します。

事業名称 みどりの基本計画の改定

長岡京市緑の基本計画を改定し、西山公園全体計画の再検討を行い、整備を進めるほか高架下緑地空間の回廊整備やその他公園の新設と再整備を市民と協働で、長岡京市特有の地域性を活かしながら幅広い年齢層が利用できる憩いの場として進めます。

緑の基本計画改定と西山公園全体計画の見直し			
指標	現状値	平成15年度 改定	目標値 (平成28年度) 緑の基本計画の改定

事業名称 緑化推進・啓発事業

都市緑化と低炭素都市づくりのために、市と緑の協会が共同で市街地の緑化を進める一方で、市民の協力と意識啓発を図るために、講習会などの事業を展開し、まちづくりへの参画を促します。

緑の講習会の参加数、グリーンカーテンコンテスト等への応募数			
指標	現状値	340人	目標値 365人

事業名称 みどりのサポーター制度促進事業

市民の緑化意識・美化意識の高揚には、市民や企業によるボランティア活動が重要であるため、緑の協会が、市民や事業者と共に取り組み、またサポーター制度の活動団体を支援し、協働で都市景観を守ります。

みどりのサポーター活動団体数			
指標	現状値	88団体	目標値 108団体

みどり

都市
景観



「“環境の都” 長岡京市環境都市宣言」

平成 21 年 3 月 23 日
議決

西山の自然に抱かれ、悠久の歴史が刻まれた長岡京市。

緑と水に恵まれ、多くの命が育まれてきました。

しかし、私たちが自然への畏敬と感謝を忘れ、物質的な豊かさを求め続けた結果、温暖化をはじめ、地球規模で様々な環境の悪化が進んでいます。

人類は、自然の一部であり、自然との共生によってのみ存続が可能です。

これを踏まえ、私たち長岡京市民は、自然と共生する持続可能な社会を目指し、世代を超えた市民と企業や諸団体そして行政等との協働により、生活様式や、社会のあり方そのものを見直します。

未来の子どもたちが心の安らぎと豊かさを得られる“環境の都”長岡京の実現が、今の私たちに課せられた責務です。

私たち長岡京市民は、先人の歴史と叡智に学び、あらゆる人々と手を携え、真に環境都市として誇れるまちづくりに取り組む決意をここに宣言します。



● 魅力発信

● 都市経営

住民の愛着の形成、知名度の向上等による経営資源の獲得などを
目指し、シティプロモーションを進めます。また、財政が厳しくな
る中、自律的で持続可能な行財政運営に挑み続け、あらゆる主体と
の連携と協働のもと、市が有する資源を最大限に活用した都市経営
を進めていきます。



魅力発信

「住みたい 住みつづけたい 悠久の都 長岡京」として
まちのイメージが広く知られている。

● 概 況 ●

交通の利便性と豊かな自然が調和するまちとして、良好な住環境を形成しています。また、市内の商業施設や医療機関、公共交通網など民間の生活関連サービスの充実も本市の住み心地の良さにつながっています。

そういった長岡京市が持つ高い魅力をさらに市内外に発信していくことが必要です。

そのために、本市の認知度やイメージを高めるためのシティプロモーション戦略を立て、市民・団体・企業等と行政が一体となって長岡京市の魅力を発信することが求められています。

また、観光や商業を、居住地の選択肢としての順位を上げるための1つの手段として捉え、「住みよい まちは訪れてよいまち」をテーマとしたプロモーション戦略を展開することにより、シティブランド力の向上と、交流人口の増加を目指します。

施 策

シティプロモーションの推進

5年後の目標

シティプロモーションのコンセプトを行政・市民・団体・企業等で共有し、一丸となって“住みたい 住みつづけたい”長岡京市の魅力を発信している。



八条ヶ池

施策の内容



■地域資源の掘り起こしや、強み・弱みの整理を通して、シティプロモーションのコンセプトを明確にします。

■ターゲットに応じた多様で適切なツールを用いた情報の受発信により、住みたい、住みつづけたいと実感できる魅力的なまちをアピールすると同時に、交流人口の増加を図ります。

けいえい

魅力発信



〔 魅力発信 〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／シティプロモーションの推進＞

- ◎長岡京市の魅力発信の基本となる「シティプロモーション推進指針」を策定し、コンセプトとブランドイメージの統一を図ります。
- ◎指針に基づき、定住人口と交流人口の増加に向けた全庁的な情報広報活動を推進します。
- ◎シティプロモーションの観点から各種イベントや事業の展開を図ります。合わせて、若者同士の出会いの場の創出に繋がる工夫を検討していきます。

事業名称 シティプロモーション推進

シティプロモーションのコンセプトを明確にし、その推進に向けたガイドラインを策定します。
また、ホームページやSNSなど発信ツールの更なる活用を検討し、全庁的な情報広報活動を推進します。

指標	シティプロモーションガイドラインの策定	
	現状値	平成28年度新規事業
	目標値 (平成29年度)	平成28年度策定のシティプロモーションガイドラインに基づく指標設定

事業名称 ふるさと納税を活用した市の魅力発信事業

ふるさと納税の活用方法を明確にし、納税手続きを簡素化して、納税額を増やします。

指標	ふるさと納税額			
	現状値	1,442,000円	目標値	2,000,000円

事業名称 長岡京ガラシャ祭(市民まつり) 開催支援事業

ガラシャ祭は市内の多くの団体や個人の協力のもと、市民主体で行われる本市の歴史文化を発信する最大のイベントであり、観光振興に貢献できるよう、祭の開催を支援します。
祭参加者の増加とモチベーションの一層の向上のため、マスコミやインターネット等を通じて、全国に向かって、まちと祭の魅力発信を行います。

指標	ガラシャウィーク中に、企画・運営・実施を通じて交流した延べ人数			
	現状値	37,750人	目標値	80,000人

けいえい

魅力発信





都市経営

挑戦する基礎自治体として、市民の信頼が厚く、対話に基づいた自律的で持続可能な行財政運営を行っている。

● 概 況 ●

少子・高齢化と人口減少に伴う社会構造の変化などにより、社会保障費は増加し、行政需要は複雑・多様化していきます。また、高度成長期に整備した公共施設等の維持管理・更新負担の増大なども見込まれます。

このような時代において、地域課題のすべてを行政が解決することは難しく、市民・団体・企業等との対話を通して課題を共有し、あらゆる主体がともに考え、未来のまちをつくりあげていくような市政運営が必要です。

自律的で持続可能な行財政運営に挑み続け、あらゆる主体との連携と協働のもと、市が有する資源を最大限に活用して、市民の安全・安心を守り、「住みたい 住みつづけたい」都市経営を進めていきます。

施 策

効果的・効率的な行財政運営

5年後
の
目標

地域の資源が効果的・効率的に活用され、市民の安全・安心を守り、市の魅力を高める持続可能な都市経営が行われている。

財産の適正管理

5年後
の
目標

市有財産が適切に管理され、市民が最大の効用を得られるよう適正に運用されている。

パートナーシップ

5年後
の
目標

対話を通じて、多様な主体が自律的にまちづくりに参画している。
広域的な連携のもと、充実した行政サービスが提供されている。

行政事務

5年後
の
目標

多岐にわたる行政事務が適正に執行されており、市民が、必要とする行政サービスを滞りなく享受できている。

■関連計画、条例など

*行財政改革大綱

*人材育成基本方針

*長岡京市公共下水道事業の地方公営企業法適用に関する基本計画書

*長岡京市水道事業中期経営計画



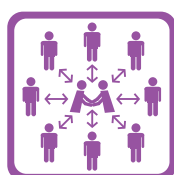
施策の内容



■都市の魅力を高める持続可能な市政のため、不断の行財政改革に取り組みます。人材育成と人的資源の最大活用、健全な財政の維持、選択と集中による着実な行政効果を重視します。



■市が所有する財産を正確に把握し、市民にとってより有益な活用方法を検討します。新たに財産を取得する場合は、妥当性、有益性、維持管理経費などを考慮して計画的に行います。



■情報の共有を基本に、対話と市政参画の機会を確保し、市民や企業と未来について共に考え、まちづくりの道を選択していきます。

■災害時の相互支援の協定など、他の地方公共団体や企業・各種団体などとの連携関係をさらに強めていきます。



■戸籍管理や統計、国政選挙などの法定受託事務、各種計画の進行管理、議会・行政委員会の運営のほか、市民生活の各般に関わる事務について、適正に執行します。

〔都市経営〕に関する実施計画事業

▶ ◎は施策の重点方針です。 ▶ 特記のない限り、指標の現状値は平成26年度、目標値は平成32年度の数値です。

＜施策／効果的・効率的な行財政運営＞

- ◎第4次長岡京市行財政改革大綱に基づくアクションプランを着実に実行します。
- ◎将来を見据えた計画的な人材の育成と確保に努めます。
- ◎内部事務の効率的な運営を図ることで、市民サービスの充実と健全な財政の維持に努めます。

事業名称 第4次長岡京市行財政改革大綱の推進

引き続き、持続可能な行財政運営を進めるため行政経営、組織構造・人材活用の視点を踏まえつつ、第4次行財政改革大綱に基づくアクションプランを策定し、実行します。

指標	アクションプランにおいて「満足できる取組」となった事業の割合	
	現状値	平成28年度にアクションプラン改定
	目標値	80.0%

事業名称 職員の人材育成

政策形成能力をはじめとする職員の意識改革と能力向上につながる集合研修や派遣研修等の実施により、行政環境の変化に的確に対応できる経営感覚を持った職員の育成を行います。

職員の年齢構成の変化に対応できるような計画的な採用や若手職員の育成に取り組むとともに、専門的な技術をもった職員の技術の継承に対応します。

指標	職員研修受講者の平均満足度	
	現状値	《参考》平成26年度派遣研修受講者の平均満足度 4.3
	目標値	「概ね高い」を表す4.0以上

事業名称 公営企業会計事業経営の適正化

企業会計の独立性を確保しながら定期的に上下水道料金を見直します。安定経営をしていくため、上下水道ビジョンを策定し、計画性・透明性の高い事業経営を推進します。

指標	水道事業会計総収支比率			
	現状値	92.7%	目標値	100%

＜施策／財産の適正管理＞

- ◎市有財産管理台帳の整備とともに、新たな公会計制度の整備を図ります。
- ◎財産の有効活用により歳入の確保に努めます。

事業名称 市有財産管理台帳の整備

市有財産管理台帳の整備を促進します。

指標	国の統一的な基準による固定資産台帳の整備			
	現状値	公有資産台帳の整備	目標値 (平成29年度)	財務諸表への反映

※平成28年度…固定資産台帳の整備完了

事業名称 公会計制度の整備

財政の透明性を高め、市民等への説明責任をより適切に果たすため、従来からの現金主義・単式簿記による会計制度に加えて、発生主義・複式簿記など企業会計の手法を活用した公会計制度の整備を図ります。

指標	国の統一的な基準による公会計財務書類の作成及び公表			
	現状値	平成28年度新規事業	目標値 (平成29年度)	財務書類の作成及び公表

＜施策／パートナーシップ＞

- ◎市政運営の様々な局面での市民参画を推進します。
- ◎市政に関する情報の市民との共有と対話の場の確保に努めます。
- ◎企業や各種団体など民間の活力を最大限に活用します。

事業名称	市長と語る対話のわ事業
	市民や団体と市長の直接対話を通して、市の現状や課題、ニーズを把握し、広く行政施策に反映させながら、市民と共に考え、まちづくりを進めます。
事業名称	市民公募委員推進事業
	無作為抽出方式による「審議会等の市民公募委員候補者名簿登録制度」を活用し、計画策定等により幅広い市民の参画を推進します。 あわせて、各種団体推薦枠を見直すことにより、団体役員の負担軽減を図ります。

指標	市長と語る対話のわの開催回数			
	現状値 (平成27年度)	15回	目標値	10回以上

指標	市民公募委員の参画がある審議会等の比率			
	現状値	89.7 %	目標値	100 %

けいえい

都市経営

＜施策／行政事務＞

- ◎すべての行政事務について、法令遵守、個人情報保護等、適正な事務執行に努め、市民サービスの効率化と向上に努めます。
- ◎ベンチマーク等各種統計の活用・評価を最大限に活かしながら総合計画を推進します。

事業名称	NICE システム総括管理事業
	住民生活に直結し、個人情報を多く含む基幹業務システムの物理的・技術的・人的セキュリティ管理に努めながら、行政事務システムの安定稼働と効率化を図ります。

指標	基幹業務システムにおけるウイルス感染による被害件数			
	現状値	0件	目標値	0件

「長岡京市『市木』『市花』の宣言」

昭和 47 年 10 月 1 日
公告第 8 号

長岡京市は平和を愛し、美しいまちづくりをすることを
念願し、市を象徴するにふさわしい木として「もみじ」、
花として「霧島つつじ」を決定することを議会の賛同の
もとにここに公文をもつて宣言する。